

2025年度（令和7年度）

東京藝術大学

（美術学部・一般選抜・私費留学生入試）

学生募集要項

※帰国生徒選抜の学生募集要項は別途掲載するのでそちらを確認すること。

2024年11月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

2025

注意事項

1. 本要項以外の試験に関する諸事項は、試験当日に本学部（上野校地・取手校地）構内の掲示板や本学入試情報サイト等に発表しますので、入構の際に必ず確認してください。
2. 試験場の下見及び試験場内の写真撮影等を禁止します。
3. 携帯電話及び撮影・通信機能を備えた電子機器をキャンパス内で使用することを禁止します。試験期間中は大学で保管することがあります。
4. 不正行為（禁止行為を含む）があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めません。また、入学後においても入試結果を無効とすることがあります。
5. 受験生は、指定した集合時刻・集合場所に直接集まってください。なお、同伴者の構内入場は認めません。（障害のある入学志願者で、本学部が認めた場合は除きます。）
6. 遅刻した者に対して試験時間の延長は認めません。
積雪等により、交通機関の乱れ・不通等が予測される場合は、あらかじめ試験場の近くに宿泊する等の措置を講じてください。
7. 「本学部受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」（私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」）は必ず携帯してください。（紛失又は忘れた時は、美術学部教務係で指示を受けてください。）
8. 試験の作品・論文等は、返却しません。なお、大学から交付した用紙等も、監督者からの指示がない限り一切持ち帰らないでください。
9. 受験生は、指定された場所以外の建物や教室等には一切立入らないでください。
10. 試験中は、すべて監督者の指示に従ってください。
11. 試験が午前・午後にわたる時は、昼食や飲み物を持参してください。
（休憩時間中、学外へ出ることはできません。）
12. 試験場は暖房が十分ではないので、服装等に留意してください。
（特に足下の保温に気をつけてください。）
13. 大学構内は、昼食時間も含め全面禁煙です。
14. 願書記載事項に変更が生じた場合は、ただちに美術学部教務係へ連絡してください。
ただし、志望学科（専攻・選択科目）等の変更はできません。
15. 試験場に忘れ物をした場合は、1週間以内に美術学部教務係に問い合わせてください。

インフルエンザ等罹患者への対応について

★学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項について

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

目 次

| | | |
|-----|----------------------------|----|
| I | 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） | 1 |
| II | 募集人員 | 1 |
| III | 出願資格 | 2 |
| IV | 選抜方法 | 5 |
| | 私費外国人留学生の入試方法 | 5 |
| | 大学入学共通テストにおいて受験を要する教科・科目一覧 | 7 |
| | 大学入学共通テスト・個別学力検査等の取扱い | 15 |
| | 採点基準・評価の観点等（個別学力検査等） | 16 |
| V | 出願手続 | 17 |
| | ◆出願手順・方法 | 17 |
| | ◆出願期間 | 17 |
| | ◆出願上の諸注意 | 18 |
| | ◆障害のある入学志願者の事前相談について | 18 |
| | ① インターネット出願登録 | 20 |
| | ② 入学検定料の支払い | 21 |
| | ③ 出願に必要な書類の送付 | 23 |
| | ④ 受験票の印刷 | 25 |
| VI | 入学試験及び合格者発表 | 26 |
| | 1. 試験場 | 26 |
| | 2. 試験科目及び試験日程 | 27 |
| | 絵画科油画専攻の試験科目について | 27 |
| | デザイン科の試験科目について | 27 |
| | 先端芸術表現科の試験科目について | 27 |
| | 芸術学科の試験科目について | 27 |
| | 3. 持参用具・注意事項 | 28 |
| | 試験日程表 | 30 |
| | 集合場所等 | 32 |
| | 4. 合格者発表 | 33 |
| VII | 入学手続 | 34 |
| | 1. 手続期間 | 34 |
| | 2. 入学料等の支払 | 34 |
| | 3. 教材費 | 35 |
| | 4. 留意事項 | 35 |
| | 5. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について | 35 |
| | 6. 「修学支援奨学金（給付型）」について | 36 |
| | 7. 優秀学生への奨学金について | 37 |
| | 8. 藝心寮（学生寮）について | 37 |
| | お知らせ | 38 |
| | ◎入試情報の開示について | 38 |
| | ◎個人情報の取扱いについて | 39 |
| | 先端芸術表現科提出資料用シート | 40 |
| | 藝心寮のご案内 | 41 |

I 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

美術学部では、ディプロマ・ポリシーに適う人材を選抜するために、大学入学共通テストに加え、個別学力検査を行っています。大学入学共通テストにおいては、入学後に必要とされる知識のレベルを判定し、個別学力検査においては、入学後の専門教育を行う上で必要な能力を審査する実技試験等を実施しています。この個別学力検査では、技能に加え創造性や表現力等を審査しますが、実施にあたっては各科および専攻の特性を最大限に尊重した内容としています。美術学部を志望する受験生には、主体的かつ継続的に技能や表現力を向上させる努力とともに、創造性を高めるための幅広い分野の学習を期待しています。

II 募集人員

| 学 | 科 | 募集人員 |
|---------|---------|------|
| 絵画科 | 日本画専攻 | 25名 |
| | 油画専攻 | 55名 |
| 彫工 | 刻芸科 | 20名 |
| デザイン | 工芸科 | 30名 |
| 建築 | デザイン科 | 45名 |
| 先端芸術表現科 | 建築科 | 15名 |
| 芸術学 | 先端芸術表現科 | 24名 |
| 芸術学 | 芸術学 | 20名 |
| 合 | 計 | 234名 |

- 注1. 出願は、一つの学科(専攻・選択科目)に限ります。
2. 本学部は前期日程のみの募集です。
3. 先端芸術表現科の2年次以降及び、工芸科素材造形分野に対しては、取手校地で授業を行います。
4. 絵画科油画専攻、工芸科、デザイン科、建築科および先端芸術表現科の募集人員の中には、帰国生徒選抜の募集人員(若干人)を含みます。

Ⅲ 出願資格

次のいずれかに該当する者で、本学の学部・学科で定める2025年度（令和7年度）大学入学共通テストのすべてを受験した者とする。

| | | |
|-----|---|--|
| (1) | 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者（注1） | |
| (2) | 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び2025年3月修了見込みの者（注2） | |
| (3) | 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当する者及び2025年3月31日までに、これに該当する見込みの者 | |
| | 外国の学校等 （注3-1～3-4） | ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 |
| | 在外教育施設（注4） | イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者 |
| | 専門学校等（注5） | ウ 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者 |
| | 文部科学大臣 の指定した者 （注6-1～6-3） | エ 旧制学校等を修了した者（注6-1） |
| | | 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレアを保有する者（注6-2） |
| | | 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設（国際的な評価団体認定外国人学校について）の12年の課程を修了した者（注6-3） |
| | 高卒認定等（注7） | オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 （旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者 |
| | 飛び入学者 （注8-1～8-2） | カ 「飛び入学」した者であって、高等学校卒業程度認定審査に合格した者で、2025年3月31日までに18歳に達する者（注8-1） |
| | | 「飛び入学」した者であって、その後に入学者となる大学において、大学教育を受ける学力があると認められた者（注8-2） |
| | 個別審査 （注9） | キ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの |

（注1）

学校教育法第90条第1項で指定された者が該当します。

（注2）

特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した者及び2025年3月修了見込みの者で、学校教育法第90条第1項で指定された者が該当します。

（注3-1）

・12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程（※1）又は研修施設の課程（※2）を修了する必要があります。（学校教育法施行規則第150条第1号、昭和56年文部省告示第153号第2号）

（※1）文部科学大臣指定教育課程一覧 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm

（※2）文部科学大臣指定研修施設課程一覧 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm

・「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

（注3-2）

・外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、2025年3月31日までに18歳に達する者が該当します。（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程（※1）又は研修施設の課程（※2）を

修了する必要があります。) (昭和56年文部省告示第153号第1号, 第2号)

・合格した学力認定試験は、当該国の検定(国が検定に準ずるものを含む。)であり、大韓民国の「高等学校卒業学力検定考査」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

(注3-3)

ウクライナのボウナ・ザハリナ・セレドニャ・オスヴィタの課程など、外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(その修了者が当該外国の正規の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限ります。)で、文部科学大臣が別に指定する教育機関(※3)を修了した者又は2025年3月31日までに修了見込みの者が該当します。(昭和56年文部省告示第153号第3号)

(※3) 文部科学大臣指定高等学校に対応する外国の学校の過程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm

(注3-4)

東京韓国学校中・高等部など、文部科学大臣が、我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者(※4)

(12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。)が該当します。(昭和56年文部省告示第153号第4号, 第5号)

(※4) 文部科学大臣が高等学校相当として指定した外国人学校一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm

(注4)

立教英国学院、帝京ロンドン学園、慶應義塾ニューヨーク学院等、文部科学大臣が高等学校と同等と認定した在外教育施設の課程(※5)を修了した者が該当します。(学校教育法施行規則第150条第2号)

(※5) 文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/004.htm

(注5)

専門学校国際スクールオブビジネスなど、文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程(※6)を修了した者が該当します。(学校教育法施行規則第150条第3号)

(※6) 文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1234679.htm

(注6-1)

海技教育機構(旧海員学校)の本科を卒業した者又は2025年3月卒業見込みの者、その他、旧制の諸学校の出身者や、小中高等学校の教諭の普通免許状を有する者など、昭和23年文部省告示第47号第1号~第19の2号で指定された者です。

(注6-2)

・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格

・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格

・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

・グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCE-Aレベル)又は、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル)(いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること)

・欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格(欧州バカロレア)のいずれかを取得した者及び2025年3月31日までに取得見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者が該当します。(昭和23年文部省告示第47号第20号~第23号)

(注6-3)

文部科学大臣が指定する、国際的な評価団体(WASC, CIS, ACISI, NEASC, Cognia, COBIS)(※7)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者、又は2025年3月31日までに修了見込みの者が該当します。(昭和23年文部省告示第47号第24号)

※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したのものについても入学資格が認められます。

(※7) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

(注7)

・高等学校卒業認定試験に合格見込みの者とは、科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を、在籍している高等学校、高等専門学校、海外において高等学校の過程と同等の過程を有するものとして、文部科学大臣が認定した在外教育施設又は、文部科学大臣の指定により大学入学資格が付与されている専修学校高等課程で、2025年3月31日までに取得見込みの者がこれに該当します。

・18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となります。

(注8-1)

いわゆる『飛び入学』で、本学以外の大学に入学した者(学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者)であって、高等学校卒業程度認定審査に合格した者が該当します。(施行規則第150条第5の2号)合格証書のコピーまたは合格証明書(原本)をご用意ください。

※(注8-2)

いわゆる『飛び入学』で本学以外の大学に入学した者(学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者)であって、本学において、大学教育を受ける学力があると認められる者を指します。(学校教育法施行規則第150条第6号)

出願を希望する場合には、出願前に出願資格の有無を確認する必要がありますので、2024年8月9日(金)までに以下照会先までご連絡ください。

※出願資格(3)カ及びキの対象者は、本学以外の大学等に『飛び入学』をしている者を指します。

(照会先)

東京藝術大学 学生課 入学試験係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 Tel: 050-5525-2075 Fax: 03-5685-7763 E-mail: nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

(注9)

上記に該当する者とは、上記(1)、(2)及び(3)ア~カに該当しない相当の理由がある者のうち、次のいずれかに該当し、本学への入学意思があり、入学しようとする年度の開始までに18歳に達する者であること、さらに申請者から提出された申請書類に基づき、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものとします。

①外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学歴を有する又は有する見込みのある者

- ②専修学校や各種学校等における学習歴及び社会での実務経験や資格等により高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者
(注) 卒業見込みがある高等学校在籍中の者は対象としない。

個別の入学資格審査は、次のような学修歴や実績の情報等に基づいて、高等学校卒業者や大学卒業者と同等以上の学力があるかどうかを本学が判断する審査です。

- ・専修学校、各種学校等の、高等学校の教育課程に相当する学修歴3年以上の履修状況
- イ) 高等学校相当の学習歴3年以上の履修状況を証明する調査書等の資料
- ロ) 出身校の教育内容(学習指導要領又は教科書の内容(項目)等)を証明する書類
- ハ) 出身校の学則(又はそれに代わるもの)
- ・社会における実務経験や取得した資格等を証明する書類
- ・大学の科目等履修生として修得した一定の単位を証明する書類
- ・その他、旧制諸学校で修了した課程の内容を証明する書類

※本学が必要と認めた場合には、面接を行うことがあります。

上記で出願しようとする者は出願前に個別の入学資格審査を行うので、事前に以下照会先まで申し出て(提出締切期限の1ヶ月前以上前が望ましい。)相談のうえ申請様式を受け取り、本学が指定した書類等を下記の提出締切期限までに提出すること。

(申請書提出締切期限)

- ①大学入学共通テストに出願する以前から本学に出願することを希望する場合：2024年8月23日(金)まで

※2024年7月26日(金)までに以下照会先までご連絡ください。

- ②大学入学共通テストに出願後、志望大学を変更して本学に出願することを希望する場合：2024年12月13日(金)まで

※2024年11月15日(金)までに以下照会先までご連絡ください。

(照会先)

東京藝術大学学生課入学試験係

〒110-8714東京都台東区上野公園12-8 Tel: 050-5525-2075 Fax: 03-5685-7763 E-mail: nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

なお、同内容は2024年7月発行の入学者選抜要項にて予告されています。

出願上の注意

- (1) 本学部(前期日程)に出願する者は、「前期日程」の本学音楽学部及び他大学・学部には出願できませんが、「後期日程」の他大学・学部には出願できます。
- (2) 願書提出は一つの学科(専攻・選択科目)に限ります。
- (3) 本学における帰国生徒選抜との併願は認めません。
- (4) 願書提出後、志望学科(専攻・選択科目)の変更は一切認めません。
- (5) 願書提出後、入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。(※22ページ参照)
- (6) 他の国公立大学の学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施した大学・学部の定める推薦入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学部の入学試験を受験しても、その合格者とはならないので注意してください。
- (7) 他の国公立大学・学部の総合型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、当該総合型選抜を実施した大学・学部の定める手続により入学を辞退した場合を除いて、本学の入学試験を受験してもその合格者とはならないので注意してください。
- (8) 国公立大学・学部の前期日程試験に合格し、3月15日までに入学手続を行った者は、後期日程の入学試験を受験しても、その合格者とはならないので注意してください。

Ⅳ 選抜方法

- (1) 本学部の個別試験は、前期日程により行います。
- (2) 入学者の選抜は、実技試験(先端芸術表現科の小論文選択及び芸術学科の小論文選択は除く)、面接(絵画科油画専攻のみ)、学科試験(芸術学科のみ)、小論文(先端芸術表現科の小論文選択及び芸術学科の小論文選択のみ)、出身学校長作成の調査書、大学入学共通テストを総合して判定します。
- (3) 本学部の個別試験では、第1次試験、第2次試験を行い、第1次試験に合格しない場合、第2次(最終)試験は受験できません(建築科および芸術学科は除く)。
- (4) 本学部は、2段階選抜、学校推薦型選抜、専門高校・総合学科卒業生入試、社会人入試、総合型選抜及び欠員補充第2次募集は行いません。帰国生徒選抜は絵画科油画専攻、工芸科、デザイン科、建築科および先端芸術表現科にて行います。

※帰国生徒選抜の「学生募集要項」は、本要項とは別掲載となりますので、希望者は東京藝術大学入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>) にて確認してください。

なお、帰国生徒選抜は出願期日等が異なるので、注意してください。

私費外国人留学生の入試方法

外国の国籍を有し、出入国管理及び難民認定法において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者で、下記の出願資格のいずれかに該当する者。

大学入学共通テストは課しませんが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を本学部が指定した下記の出題科目等のおり受験していなければなりません。

募集人員は、入学定員内として若干名であり、本学部が実施する個別試験、提出書類、「日本留学試験」の成績の各資料等を総合して判定します。

| 出願資格 | |
|------|---|
| (1) | 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者(注3-1～3-4) |
| (2) | 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレアを保有する者(注4-1) |
| (3) | 国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者(注4-2) |

(注3-1)

・12年未満の課程の場合は、さらに文部科学大臣が指定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。(学校教育法施行規則第150条第1号、昭和56年文部省告示第153号第2号)

(※1) 文部科学大臣指定教育課程一覧 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm

(※2) 文部科学大臣指定研修施設課程一覧 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm

・「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

(注3-2)

・外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、2025年3月31日までに18歳に達する者が該当します。(12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。)

(昭和56年文部省告示第153号第1号、第2号)

・合格した学力認定試験は、当該国の検定(国が検定に準ずるものを含む。)であり、大韓民国の「高等学校卒業学力検定考査」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

(注3-3)

ウクライナのポウナ・ザハリナ・セドニャ・オスヴィタの課程など、外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者

(その修了者が当該外国の正規の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限ります。)で、文部科学大臣が別に指定する教育機関(※3)を修了した者又は2025年3月31日までに修了見込みの者が該当します。(昭和56年文部省告示第153号第3号)

(※3) 文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm

(注3-4)

東京韓国学校中・高等部など、文部科学大臣が、我が国において外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者(※4)

(12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。)が該当します。(昭和56年文部省告示第153号第4号、第5号)

(※4) 文部科学大臣が高等学校相当として指定した外国人学校一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm

(注4-1)

・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格

- ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
- ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
- ・グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）又は、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル）（いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること）
- ・欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格（欧州バカロレア）のいずれかを取得した者及び2025年3月31日までに取得見込みの者が該当します。（昭和23年文部省告示第47号第20号～第23号）

（注4-2）

文部科学大臣が指定する、国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）（※7）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者、又は2025年3月31日までに修了見込みの者が該当します。（昭和23年文部省告示第47号第24号）

※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。（※7）文部科学大臣が指定する国際的な評価団体 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

「日本留学試験」出題科目等については以下のとおりです。

- 建築科・先端芸術表現科は〔「日本語」,「数学」,「理科」〕又は〔「日本語」,「数学」,「総合科目」〕のいずれかを受験してください。
 - ・数学の「コース1」と「コース2」の選択は、受験者本人が任意に選択してください。
 - ・「理科」の物理・化学・生物から2科目選択は、受験者本人が任意に選択してください。
- 絵画科日本画専攻、絵画科油画専攻、彫刻科、工芸科、デザイン科、芸術学科は、「日本語」及び「総合科目」を受験してください。
- 共通事項
 1. 日本語科目以外において、日本語及び英語による出題については、いずれを受験してもかまいません。
 2. 渡日前の入学許可は行いません。（外国において本学の入学試験は行いません。）
 3. 2024年6月、11月（追試を含む）に実施した日本留学試験の成績のいずれかを提出してください。科目ごとに異なる回の成績を大学に提出することはできないので注意してください。

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課

所在地 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29

電話 03-6407-7457

ホームページ <https://www.jasso.go.jp/>

大学入学共通テストにおいて受験を要する教科・科目一覧

本学部では、下表のとおり各学科（専攻）ごとに、大学入学共通テストにおいて受験を要する教科・科目を指定しているため、間違いのないように注意してください。

（注）

- ・願書受理後であっても、大学入学共通テストで本学部の指定する教科・科目を受験していないことが明らかになった場合は、失格となります。
- ・重度の難聴者に対しては、本人の大学入試センターへの申請により、リスニングテストの免除が可能ですが、特に免除されたことを考慮し、この場合には「英語リーディング」100点満点の成績を200点満点に換算して評価します。
- ・本学では、大学入学共通テストの前年度成績は、利用しません。

| 絵画科 日本画専攻 | | | | |
|---|--|---|---|--|
| 教科 | 科目 | 配点等 | | |
| 大学入学共通テスト （3教科3科目） | 国語（必） | 『国語』 | ○教科名の（必）は必須、（選）は選択教科・科目。 | |
| | 外国語（必） | 『英語（リスニングを含む）』（※1） 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 | | から1科目選択 |
| | 地理歴史（選） | 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』（※2） | から1科目選択 | ○志願者は、必須教科・科目の他に選択科目・教科から1科目選択し、合計3教科3科目を受験すること。 ○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。 ○地理歴史、公民、数学、理科、情報の得点は、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 |
| | 公民（選） | | | |
| | <p>旧教育課程履修者は、次のア、イのいずれかを選択し、解答する。 ア 新教育課程による出題科目の6科目（上記）のうちから1科目を選択する。 イ 旧教育課程による出題科目の10科目（以下）のうちから1科目を選択する。 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』 注：新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。</p> | | | |
| 数学（選） | 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 | から1科目選択 | | |
| <p>旧教育課程履修者は、以下のようにパターン①または②により選択ができます。</p> <p>●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の4科目から1科目選択するパターン① 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』</p> <p>●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の5科目から1科目選択するパターン② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』</p> | | | | |
| 理科（選） | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※3） 『物理』『化学』『生物』『地学』 | から1科目選択 | （※1）外国語のうち、『英語』を選択した場合は、リーディングの他にリスニングを課し、それを合せて「英語」の評価とする。 なお、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点数を、160点：40点に換算したものを「英語」の評価とする。 （※2）『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか、必ず2つの出題範囲を選択して解答する。 （※3）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。 | |
| 情報（選） | 『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は、新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』 | | | |
| 個別学力検査等 | その他 | 実技検査〔鉛筆素描〕〔着彩写生〕 | ○1次：個別学力検査等の成績により合否を判定する。 ○2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。 | |

絵画科 油画専攻

| 教科 | 科目 | 配点等 | | |
|-----------------------|---|--|--|---|
| 大学入学共通テスト (3教科3科目) | 国語(必) | 『国語』 | ○教科名の(必)は必須、(選)は選択教科・科目。 | |
| | 外国語(必) | 『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 | | から1科目選択 |
| | 地理歴史(選) | 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 | から1科目選択 | ○志願者は、必須教科・科目の他に、選択科目・教科から1科目選択し、合計3教科3科目を受験すること。 ○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。 ○地理歴史、公民、数学、理科、情報の得点は、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 |
| | 公民(選) | | | |
| | 数学(選) | 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 | から1科目選択 | |
| 理科(選) | 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』 | から1科目選択 | | |
| 情報(選) | 『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は、新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目を選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』 | から1科目選択 | | |
| 個別学力検査等 | その他 実技検査〔素描〕〔絵画〕 面接 | | ○1次：個別学力検査等の成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え、総合的に判定し、可否を決定する。 ○2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え、総合的に判定し、可否を決定する。 | |

| 彫刻科 | | | | |
|-----------------------|--|---|--|---|
| 教科 | 科目 | 配点等 | | |
| 大学入学共通テスト (3教科3科目) | 国語(必) | 『国語』 | ○教科名の(必)は必須、(選)は選択教科・科目。 | |
| | 外国語(必) | 『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 | | から1科目選択 |
| | 地理歴史(選) 公民(選) | 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 | から1科目選択 | ○志願者は、必須教科・科目の他に、選択科目・教科から1科目選択し、合計3教科3科目を受験すること。 ○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。 ○地理歴史、公民、数学、理科、情報の得点は、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 |
| | | 旧教育課程履修者は、次のア、イのいずれかを選択し、解答する。 ア 新教育課程による出題科目の6科目(上記)のうちから1科目を選択する。 イ 旧教育課程による出題科目の10科目(以下)のうちから1科目を選択する。 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』 注：新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。 | | |
| | 数学(選) | 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 | から1科目選択 | |
| | 旧教育課程履修者は、以下のようにパターン①または②により選択ができます。 ●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の4科目から1科目選択するパターン① 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』 ●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の5科目から1科目選択するパターン② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』 | から1科目選択 | (※1) 外国語のうち、『英語』を選択した場合は、リーディングの他にリスニングを課し、それを含めて『英語』の評価とする。 なお、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を、160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。 (※2) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか、必ず2つの出題範囲を選択して解答する。 (※3) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。 | |
| 理科(選) | 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』 | から1科目選択 | | |
| 情報(選) | 『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は、新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』 | | | |
| 個別学力検査等 | その他 | 実技検査〔素描〕〔彫刻〕 | ○1次：個別学力検査等の成績により合否を判定する。 ○2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。 | |

| 工芸科 | | | | |
|-------------------|---|--|--|---|
| 教科 | 科目 | 配点等 | | |
| 大学入学共通テスト（3教科3科目） | 国語（必） | 『国語』 | ○教科名の（必）は必須、（選）は選択教科・科目。 | |
| | 外国語（必） | 『英語（リスニングを含む）』（※1） 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 | | から1科目選択 |
| | 地理歴史（選） | 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』（※2） 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 | から1科目選択 | ○志願者は、必須教科・科目の他に、選択科目・教科から1科目選択し、合計3教科3科目を受験すること。 ○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。 ○地理歴史、公民、数学、理科、情報の得点は、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 |
| | 公民（選） | | | |
| | 数学（選） | 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 | から1科目選択 | |
| 理科（選） | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※3） 『物理』『化学』『生物』『地学』 | から1科目選択 | | |
| 情報（選） | 『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は、新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目を選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』 | から1科目選択 | | |
| 個別学力検査等 | その他 | 実技検査〔鉛筆写生〕〔平面表現〕〔立体表現〕 | ○1次：個別学力検査等の成績により合否を判定する。 ○2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入学共通テストの成績と願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。 | |

| デザイン科 | | | | |
|-----------------------|---|---|--|---------|
| | 教科 | 科目 | 配点等 | |
| 大学入学共通テスト (4教科4科目) | 国語(必) | 『国語』 | ○教科名の(必)は必須、(選)は選択教科・科目。 | |
| | 外国語(必) | 『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 | | から1科目選択 |
| | 情報(必) | 『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は、新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』 | ○志願者は、必須教科・科目の他に、選択科目・教科から1科目選択し、合計4教科4科目を受験すること。 ○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。 ○地理歴史、公民、数学、理科の得点は、国語、外国語と同一の200点満点として換算する。なお、情報のみ換算せず100点満点とし、合計700点とする。 (※1) 外国語のうち、『英語』を選択した場合は、リーディングの他にリスニングを課し、それを合わせて『英語』の評価とする。 なお、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を、160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。 (※2) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか、必ず2つの出題範囲を選択して解答する。 (※3) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。 | |
| | 地理歴史(選) 公民(選) | 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 旧教育課程履修者は、次のア、イのいずれかを選択し、解答する。 ア 新教育課程による出題科目の6科目(上記)のうちから1科目を選択する。 イ 旧教育課程による出題科目の10科目(以下)のうちから1科目を選択する。 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』 注:新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。 | | から1科目選択 |
| | 数学(選) | 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 旧教育課程履修者は、以下のようにパターン①または②により選択ができます。 ●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の4科目から1科目選択するパターン① 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』 ●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の5科目から1科目選択するパターン② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』 | | から1科目選択 |
| 理科(選) | 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』 | から1科目選択 | | |
| 個別学力検査等 | その他 | 実技検査〔鉛筆写生〕〔デザインⅠ(色彩)〕〔デザインⅡ(形体)〕 ※〔鉛筆写生〕について、石膏像デッサン又は構成デッサンのいずれかを出願時に志願者が選択すること。 | ○1次:個別学力検査等の成績により合否を判定する。 ○2次:2次個別学力検査等までの成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。 | |

| 建築科 | | | |
|-----------------------|----------------------------|---|--|
| 教科 | 科目 | 配点等 | |
| 大学入学共通テスト (5教科6科目) | 国語(必) | 『国語』 | <p>○教科名の(必)は必須、(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は、必須教科・科目の合計5教科6科目を受験すること。</p> <p>○地理歴史及びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○合計800点とする。 (国語200点/外国語200点/地理歴史100点/数学200点/理科100点)</p> <p>(※1) 外国語のうち、『英語』を選択した場合は、リーディングの他にリスニングを課し、それを含めて『英語』の評価とする。 なお、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を、160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2) 『地理総合/歴史総合/公共』は、『地理総合』『歴史総合』『公共』いずれか、必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> |
| | 外国語(必) | 『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 | |
| | 地理歴史(必) | 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) | |
| | | <p>旧教育課程履修者は、次のア、イのいずれかを選択し、解答する。</p> <p>ア 新教育課程による出題科目の4科目(上記)のうちから1科目を選択する。</p> <p>イ 旧教育課程による出題科目の6科目(以下)のうちから1科目を選択する。</p> <p>『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』</p> <p>注:新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせで選択することはできません。</p> | |
| 数学(必) | 『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 | <p>旧教育課程履修者は、以下のとおりです。</p> <p>数学①:『数学Ⅰ、数学A』または『旧数学Ⅰ・旧数学A』のどちらか1科目選択(必須)</p> <p>数学②:『数学Ⅱ、数学B、数学C』または『旧数学Ⅱ・旧数学B』のどちらか1科目選択(必須)</p> <p>※数学①と②からそれぞれ1科目ずつ受験が必要です。</p> <p>※数学①と②で新・旧が混在していても問題ございません。</p> <p>(例:数学①は新、数学②は旧の組み合わせでも可)</p> | |
| 理科(必) | 『物理』『化学』 『生物』『地学』 | から1科目選択 | |
| 個別学力検査等 | その他 | 実技検査〔空間構成〕〔総合表現〕 | 個別学力検査等の成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え、総合的に判定し、可否を決定する。一次合格者選抜は行わない。 |

| 先端芸術表現科 | | | | |
|-----------------------|--|--|---|---------|
| 教科 | 科目 | 配点等 | | |
| 大学入学共通テスト (3教科3科目) | 国語(必) | 『国語』 | <p>○教科名の(必)は必須、(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は、必須教科・科目の他に、選択科目・教科から1科目選択し、合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○地理歴史、公民、数学、理科、情報の得点は、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。</p> | |
| | 外国語(必) | 『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 | | から1科目選択 |
| | 地理歴史(選) 公民(選) | 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 | | から1科目選択 |
| | | <p>旧教育課程履修者は、次のア、イのいずれかを選択し、解答する。</p> <p>ア 新教育課程による出題科目の6科目(上記)のうちから1科目を選択する。</p> <p>イ 旧教育課程による出題科目の10科目(以下)のうちから1科目を選択する。</p> <p>『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』</p> <p>注：新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。</p> | | |
| | 数学(選) | 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 | | から1科目選択 |
| | <p>旧教育課程履修者は、以下のようにパターン①または②により選択ができます。</p> <p>●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の4科目から1科目選択するパターン① 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』</p> <p>●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の5科目から1科目選択するパターン② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』</p> | から1科目選択 | | |
| 理科(選) | 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』 | から1科目選択 | | |
| 情報(選) | 『情報Ⅰ』 | | | |
| | <p>旧教育課程履修者は、新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。</p> <p>『情報Ⅰ』『旧情報』</p> | | | |
| 個別学力検査等 | <p>実技検査〔素描〕、小論文</p> <p>※1次は、実技検査〔素描〕又は小論文を出願時に志願者が選択すること。</p> <p>〔総合実技〕 個人資料ファイル</p> <p>※個人資料ファイル(志願者の活動内容をまとめたもの)を提出すること。</p> | | <p>○1次：個別学力検査等の成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え、総合的に判定し、可否を決定する。</p> <p>○2次：2次個別学力検査等までの成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え、総合的に判定し、可否を決定する。</p> | |

| 芸術学科 | | | |
|-------------------|--|---|---|
| 教科 | 科目 | 配点等 | |
| 大学入学共通テスト（3教科3科目） | 外国語（必） | 『英語（リスニングを含む）』（※1） 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 } から1科目選択 | ○教科名の（必）は必須、（選）は選択教科・科目。 ○志願者は、必須教科・科目の他に、選択科目・教科から2科目選択し、合計3教科3科目を受験すること。 ○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い2教科2科目を評価する。 ただし、地理歴史及び公民並びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。 ○地理歴史、公民、数学、理科、情報の得点は、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。 （※1）外国語のうち、『英語』を選択した場合は、リーディングの他にリスニングを課し、それを合わせて『英語』の評価とする。 なお、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点数を、160点：40点に換算したものを『英語』の評価とする。 （※2）『地理総合／歴史総合／公共』は、『地理総合』『歴史総合』『公共』いずれか、必ず2つの出題範囲を選択して解答する。 （※3）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』は、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』として1出題科目として扱う。『物理基礎』などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。 |
| | 国語（選） | 『国語』 | |
| | 地理歴史（選） | 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 から 『地理総合／歴史総合／公共』（※2） } から1科目選択 旧教育課程履修者は、次のア、イのいずれかを選択し、解答する。 ア 新教育課程による出題科目の4科目（上記）のうちから1科目を選択する。 イ 旧教育課程による出題科目の6科目（以下）のうちから1科目を選択する。 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』 注：新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。 | |
| | 数学（選） | 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 } から1科目選択 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 } から1科目選択 旧教育課程履修者は、以下のようにパターン①または②により選択ができます。 ●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の4科目から1科目選択するパターン① 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』 ●新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の5科目から1科目選択するパターン② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』 | |
| | 理科（選） | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※3） } から 『物理』『化学』『生物』『地学』 } 1科目選択 | |
| 情報（選） | 『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は、新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』 | | |
| 個別学力検査等 | 地理歴史 世界史探究、日本史探究から1科目を選択 外国語 英語（英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ）、ドイツ語、フランス語から1科目を選択 その他 小論文、実技検査〔鉛筆素描（石膏像）〕から1科目を選択 ※出願時に選択すること。 | 個別学力検査等の成績（600点）と、大学入学共通テストの成績（600点）の合計点1200点に、出願書類（調査書等）の審査を加え、総合的に判定し合否を決定する。合格者は、個別学力検査等の小論文と鉛筆素描の選択科目ごとに判定し、合格者数は原則として、小論文と鉛筆素描の受験者数に応じて比例配分する。1次合格者選抜は行わない。 | |

大学入学共通テスト・個別学力検査等の取扱い

| | 1次試験 | | | | 2次試験 | | | | |
|----------------|------------------------------|-------------------------|---------------|------|-------------|-------------------------------|----------------------|---------------|------|
| | 個別学力検査等 | | 大学入学 共通テスト | 調査書等 | 1次試験 の成績 | 個別学力検査等 | | 大学入学 共通テスト | 調査書等 |
| | 日本画 | 鉛筆素描 A または D (2段階評価) | | | | ○ | 着彩写生 ABCD (4段階評価) | | ○ |
| 油画 | 素描 A または D (2段階評価) | | ○ | ○ | ○ | 絵画・面接 ABCDE (5段階評価) | | ○ | ○ |
| 彫刻 | 素描 ABC (3段階評価) | | | | ○ | 彫刻 ABCD (4段階評価) | | ○ | ○ |
| 工芸 | 鉛筆写生 ABCD (4段階評価) | | | | ○ | 平面表現 立体表現 AaBCD (5段階評価) | | ○ | ○ |
| デザイン | 鉛筆写生 ABCD (4段階評価) | | | | ○ | 色彩 ABCD (4段階評価) | 形体 ABCD (4段階評価) | ○ | ○ |
| 建築 | 空間構成 ABC (3段階評価) | 総合表現 AB+BC (4段階評価) | ○ | ○ | | | | | |
| 先端 芸術 表現 | 素描または 小論文 ABCD (4段階評価) | | ○ | ○ | ○ | 総合実技 AB(B)CDE (6段階評価) | | ○ | ○ |
| 芸術学 | 小論文または 鉛筆素描 200点 | 外国語 200点 | 地理歴史 200点 | 600点 | ○ | | | | |

※個人資料ファイルを含む

(注)

- 課せられた試験を1つでも受験しなかった者は失格（不合格）となる。
- 表中、○印で示す内容は、1次合否判定・最終合格判定に用いる。
- 最終合格判定では、各個別学力検査等および調査書等を総合的に判断する。

採点基準・評価の観点等（個別学力検査等）

| 学科・専攻 | 個別学力検査等 | 採点基準等 |
|-----------|--------------------|--|
| 絵画科 日本画専攻 | 鉛筆素描 | <ul style="list-style-type: none"> ・出題の意図を読み取る能力 ・空間認識能力 ・対象を正確に観察して再現する基礎的な描写力 |
| | 着彩写生 | <ul style="list-style-type: none"> ・出題の意図を読み取る能力 ・色や質感対象の印象を正確に観察して再現的に表現する能力 ・画面を絵画的に構成する能力 |
| 絵画科 油画専攻 | 素描 | 出題を (1) どのように理解したか (2) どのように観察したか (3) どのように表現できたか 以上3点を主に絵画表現の基礎的な描写力を評価する。 |
| | 絵画 | 【素描】 (1) 構想力 (2) 構成力 以上2点を主に素描における個人の創造力を評価する。 【油彩】 上記に加え形態と色彩による総合的な造形表現能力を評価する。 |
| | 面接 | <ul style="list-style-type: none"> ・美術家を志す受験生それぞれの持つ多彩な個性と才能、主体的に考え創造活動へと展開する力を、対話を通じて評価する。 |
| 彫刻科 | 素描 | <ul style="list-style-type: none"> ・出題されたモチーフと、その空間を観察し、対象の持つ特徴を的確に捉える空間認識力、描写力、表現力など基礎能力を評価する。 |
| | 彫刻 | <ul style="list-style-type: none"> ・出題内容に対する柔軟な思考力、空間認識力、構成力、観察力、造形力といった観点をもとに、総合的な立体表現の基礎能力を評価する。 |
| 工芸科 | 鉛筆写生 | <ul style="list-style-type: none"> ・出題の意図を理解し、対象物をよく観察でき、基礎的な描写力と表現力があるか |
| | 平面表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・出題の意図を理解し、各々の視点による展開力を持ち、色彩感覚及び構成力があるか |
| | 立体表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・出題の意図を理解し、各々の視点による展開力を持ち、立体の造形力及び構成力があるか |
| デザイン科 | 鉛筆写生 | <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた対象物を観察し、得られた諸要素を再構成する能力および基礎的な描写能力を審査する。 |
| | デザインⅠ (色彩) | <ul style="list-style-type: none"> ・出題をどのように理解し、構想したかとともに、色彩および平面構成の造形能力を審査する。 |
| | デザインⅡ (形体) | <ul style="list-style-type: none"> ・出題をどのように理解し、構想したかとともに、形体および立体構成の造形能力を審査する。 |
| 建築科 | 空間構成 | <ul style="list-style-type: none"> ・立体の形状等を正確に捉える能力 ・立体の特徴を活かした配置を考案する能力 ・立体と素材が創り出す空間の描写力 |
| | 総合表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・主題を適切に観察・分析する力 ・分析内容と目的を結びつける構想力 ・構想した空間を表現する力 ・制作意図を的確に説明する能力 |
| 先端芸術表現科 | 素描 または 小論文 | 【素描】 <ul style="list-style-type: none"> ・出題の意図を理解し、適切な表現がされているか ・基礎的な描写力が備わっているか ・独自の発想力があるか ・画面構成力が感じられるか 【小論文】 <ul style="list-style-type: none"> ・文章を正確に読み取り、問いに対する的確な答えがなされているか ・自分の主張が論理的に記述されているか ・設問の意図を理解し、要求にそった回答がなされているか ・取り上げたテーマを深く掘り下げて論述し、さらに自分の考えが述べられ、論が示されているか ・誤字、脱字がないか |
| | 総合実技 | <ul style="list-style-type: none"> ・素材を使って表現する力が備わっているか ・独自の発想とスキルによって最後まで仕上げる集中力があるか ・自身が制作した物を他者にうまく伝えられるか |
| 芸術学科 | 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・長文を正確に読解し、内容を的確な日本語に翻訳する能力 |
| | 地理歴史 | <ul style="list-style-type: none"> ・個々の歴史事項に関する正確な理解とともに、複数の歴史事象を結びつけて合理的な論述を展開する能力 |
| | 小論文 または 鉛筆素描 | 【小論文】 <ul style="list-style-type: none"> ・問題の意図を読み取る理解力 ・論旨を組み立てる論理性 ・説得的な文章を書くための日本語の表現能力 【鉛筆素描】 <ul style="list-style-type: none"> ・対象を正確に観察して素描する基礎実技の能力 ・石膏像のかたちや空間を的確にとらえ、再現的に表現する実技能力 |

V 出願手続

◆出願手順・方法

本学部の入学試験の出願方法は、「インターネット出願」です。出願手続の主な手順・方法は以下のとおりです。下記①, ②を指定された期間内に行い, ③の出願に必要な書類を提出期間内に本学に送付してください。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となります。出願が受理されると, インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。

| | | |
|---|---|--|
| ① | インターネット出願登録 (詳細は 20 ページ参照) | パソコン等で本学の「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし, 必要情報を入力, 登録してください。 |
| ▼ | | |
| ② | 入学検定料の支払い (詳細は 21 ~ 22 ページ参照) | ①の完了後, インターネット出願サイトの指示に従って, 入学検定料をお支払いください。 |
| ▼ | | |
| ③ | 出願に必要な書類の送付 (詳細は 23 ~ 24 ページ参照) | ②の完了後, インターネット出願サイトから必要書類等を印刷し, 他のすべての出願に必要な書類とともに本学に送付してください。 |
| ▼ | | |
| ④ | 受験票の印刷 (詳細は 25 ページ参照) | 出願資格等が確認されて出願が受理されると, インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。志願者各自が印刷して試験時に受験票を持参してください。 |

◆出願期間

| インターネット出願登録期間及び 入学検定料支払期間 | 「出願に必要な書類」提出期間 (消印有効期間) |
|--|------------------------------------|
| 2025年1月27日(月) 10:00 ~ 2025年2月5日(水) 23:59まで | 2025年1月27日(月) ~ 2025年2月5日(水) |

※出願に必要な書類の提出は, 郵送(簡易書留・速達郵便)のみとし, 郵便局の消印が上記期間内のものに限り受け付けます。郵便局の消印が期間前・期間後のもの, また郵送によらないものは一切受け付けません。

◆出願上の諸注意

- ・「インターネット出願」は、インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料（21～22ページ参照）を支払期間内に支払い、出願に必要な書類（23～24ページ参照）を提出期間内に書留・速達郵便にて本学に送付する必要があります。
- ・提出された願書に書かれている学歴等が出願資格を満たしていると確認された場合、出願が受理され、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります（25ページ参照）。
- ・提出された必要書類に不備・不足がある場合、出願を受理できない場合があります。
- ・願書受理後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。
- ・2024年12月30日（月）～2025年1月3日（金）は、本学の冬季休業のため、出願にあたり不明な点がある場合は、この期間を除いて美術学部教務係へ問い合わせてください。

◆障害のある入学志願者の事前相談について

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする志願者は、美術学部教務係に事前相談してください。本学入試情報サイトの「受験上・修学上の配慮申請」のページに掲載されている申請書に必要な事項を記載し、医師の診断書等を添付して、2024年12月17日（火）までに書留郵便にて提出してください。

なお、12月17日締切以後に発生した不慮の事故による負傷の場合にのみ、速やかに美術学部教務係に相談してください。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部教務係
相談先／メール：bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp

- (注)・事前相談に対する回答には、相当の期間（1～2か月）を要する場合がありますため、早めに相談してください。
- ・高等学校等を卒業した者は、美術学部教務係との事前相談に際し、出身学校長等とも相談してください。
 - ・事前相談は、ご希望されたすべての内容に対応できるとは限りませんのでご承知おきください。

○インターネット出願サイトの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

(株) キャリタス「学び・教育」サポートセンター

Tel：0120-202-079（平日10：00～18：00／土・日・祝日・年末年始を除く ※出願期間中は24時間対応）（日本語のみ）

Email：cvs-web@career-tasu.co.jp（日本語・英語対応可）

※入試に関する質問についてはお答えできません。


○入試に関する問い合わせ先

東京藝術大学美術学部教務係

Email：bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp（日本語・英語対応可）

Tel：050-5525-2122（平日9：00～12：30、13：30～16：30／土・日・祝日、本学の夏季・冬季休業期間、年末年始を除く）（日本語のみ）

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせてください。

| インターネット出願する前に必ず確認してください | |
|-------------------------|---|
| パソコン等の動作環境 | <p>インターネット出願は次の環境で行ってください。</p> <p>【PC利用時推奨ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。</p> <p>【スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOS 12 以降 ・ Android 8 以降 ・ iPadOS 13 以降 <p>※各OSの標準ブラウザが推奨環境です。</p> <p>※使用中のブラウザで表示が崩れることがあれば、他のブラウザにて確認してください。</p> <p>※Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版を利用してください。</p> |
| メールの設定 | <p>登録されたメールアドレスにメールが以下4回送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①マイページ登録時の初期パスワードお知らせメール ②出願登録完了時の自動返信メール ③検定料支払完了時の自動返信メール ④受験票が取得可能になった際の通知メール <p>メールはno-reply@e-apply.jpからお送りします。あらかじめ受信できるように設定しておいてください。</p> <p>※出願書類に不備・不足がある場合は登録されたメールアドレスに連絡しますので、必ず定期的に確認するようにしてください。</p> |
| 写真の用意 | <p>出願には顔写真データ（2MBまで）が必要です。脱帽，上半身，正面向，背景なし，出願前3か月以内に撮影のカラー写真データをご用意ください。</p> <p>右図を参考にして撮影をしてください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明なもの、背景が暗いもの、顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施しているもの等。</p> <p>その他、目に前髪がかかっている写真も不可。</p> <p>目のまわりなど顔がはっきりとわかるよう、撮影時に注意してください。</p>  |
| 出願資格を証明する書類等の用意 | <p>23～24ページ参照の上、出願に必要な提出書類は、提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。「出願資格を証明する書類」については、インターネット出願登録を行う前に用意してください。</p> |
| 封筒の用意 | <p>必要書類提出のために、市販の角2封筒（240mm×332mm）をご用意ください。</p> |
| 用紙の用意 | <p>インターネット出願サイトから印刷する書類等はA4サイズに印刷します。A4サイズの白の用紙をご用意ください。</p> |

※本学の「インターネット出願サイト」内「事前準備」も併せてご確認ください。

1 インターネット出願登録

出願登録期間内に本学「入試情報サイト」のトップページの「Web出願」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」をクリックして出願に必要な情報を登録してください。

最初に、トップページ下段の「インターネット出願利用手順」等を熟読してから登録を行ってください。

| 手 順 | |
|-----------------------|---|
| | 「インターネット出願サイト」(https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) にアクセス ▼ |
| マイページ登録 | ○「マイページ登録」(オレンジ色のボタン) をクリック ○入力画面に従い、個人情報等を事前登録する。 ▼ |
| 志願先登録 | ○マイページログイン後の「出願手続きを行う」をクリック ○「美術学部・美術研究科 Faculty of Fine Arts・Graduate School of Fine Arts」を選択する。 ○出願する入試区分、専攻、研究分野等を選択する。 ▼ |
| 個人情報の登録・顔写真データのアップロード | マイページ登録の際に登録した氏名、住所等の個人情報内容を確認すること。 その他、必要事項を全て入力すること。 写真：カラーの顔写真データを用意し、アップロードすること(19ページ参照) ▼ |
| 申込内容の確認 | 入力内容に誤りがないか確認し、誤りがなければ「この内容で登録する」をクリックする。 ▼ |
| 出願登録の完了 | 画面に「受付番号」が表示されたら登録は完了となる。「引き続き支払う」をクリックし、支払い手続きに進むこと。(21～22ページ参照) |

※インターネット出願登録が完了すると、登録されたメールアドレスに登録完了メールが届くので、必ず確認してください。

※受付番号は、出願内容の確認、入学願書の印刷等で必要となるため、登録完了メールは入試終了まで大切に保管をしてください。

【インターネット出願登録に係わる注意事項】

- ・インターネット出願登録完了時に表示される12桁の「受付番号」は、受験番号ではありません。
- ・インターネット出願登録完了後、その日を含む4日以内の23:59までに支払手続きが行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されますのでご注意ください。**※ただし、出願登録完了日が支払期限締切日まで4日未満の場合は支払期限締切日時が優先。**
- ・入学検定料支払前に登録内容の誤りに気がついた場合は、入学検定料を支払わずに「マイページ」の「修正」をクリックし、正しい内容を登録した上で、入学検定料支払い手続きに進んでください。入学検定料支払い後は、登録内容を修正することはできません。
- ・写真は、出願写真として適切でないと判断された場合、再提出になる場合があります。

② 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、①のインターネット出願登録完了後に行います。出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

- ① 出願登録完了後「引き続き支払う」ボタンをクリックする。
- ② マイページにログインして支払手続きをおこなう。

支払方法を選択して、支払期間内に入学検定料の支払手続きを行ってください。

| 入学検定料 | 支払期間 |
|---------|---|
| 20,400円 | ●2025年1月27日（月）～2025年2月5日（水）23：59まで ●上記期間中、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23：59まで（ただし、出願登録完了日が支払期限締切日まで4日未満の場合は上記支払期限締切日時が優先） |

※支払方法によって、別途振込手数料が必要な場合があります。

| 支払方法 | 取扱機関等 |
|------------|--|
| コンビニエンスストア | セブン-イレブン／ローソン、ミニストップ（Loppi）／ファミリーマート／デイリーヤマザキ／セイコーマート |
| クレジットカード | MUFGCARD／DC／UFJCard／NICOS／VISA／MasterCard／JCB／AMERICAN EXPRESS |
| 郵便局・銀行ATM | Pay-easy対応ATM |
| ネットバンキング | Pay-easy対応ネットバンキング／PayPay銀行／楽天銀行／住信SBIネット銀行／auじぶん銀行 |

※入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに支払手続き完了メールが届きます。

【入学検定料に係わる注意事項】

- ・支払手続きに関する詳細・注意点等については、インターネット出願サイトのトップページから「支払い方法」を参照してご確認ください。
- ・支払期間が過ぎると入学検定料を支払うことができません。
- ・支払期間までに支払いが完了しない場合、出願登録したデータは消去されますので、ご注意ください。
- ・入学検定料支払が完了していない場合、インターネット出願サイトから入学願書等の出願に必要な書類を印刷できません。（※出願時に国費外国人留学生である者および入学検定料免除許可者を除く）
- ・出願時に国費外国人留学生である者は入学検定料の支払不要です。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を③の出願に必要な書類（23ページ参照）とともに本学に提出してください。
- ・クレジットカード決済でお支払いされる場合は、有効なカードをご用意ください。カード名義は出願者本人でなくてもかまいません。
- ・クレジットカードでのお支払いができない場合は、他のカードで決済するか、違う決済手段でお支払いください。

【入学検定料免除制度について】

日本国内で発生した大規模な風水害等において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施します。申請時期などの詳細は本学入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/kenteiryomenjo/>) を確認してください。

- ① 申請時期
各入学試験の出願期間開始日の1週間前の日まで
- ② 提出書類
 - ・入学検定料免除申請書（本学指定様式）
 - ・罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）
- ③ 注意事項

インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行ってください。

問い合わせ先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学学生課入学試験係
Tel：050-5525-2075 / Fax：03-5685-7763
Email：nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

【入学検定料の返還について】

次の㉗～㉙の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- ㉗ 入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが出願が受理されなかった場合
- ㉘ 入学検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合
- ㉙ 入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが、大学入学共通テストにおいて本学部が指定する教科・科目を受験していない等の失格要件が判明し、失格となった場合

返還金額は、㉗と㉘については全額とし、㉙については13,000円とします。

該当する場合の返還請求の方法は下記のとおりです。

本学所定の用紙「検定料返還請求願」（本学入試情報サイトよりダウンロード・印刷してください）に必要事項を記入・捺印し、下記送付先に郵送してください。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学財務会計課経理係

（注）・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外です。

- ・大学から志願者への返還金額は、入学検定料の金額から返還時の振込手数料を差し引いた額です。
- ・返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約2～3か月かかります。
- ・返還請求書の提出期限は2025年3月31日（消印有効）です。期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しません。

③ 出願に必要な書類の送付

出願に際して提出する必要書類は、下記表の①～⑥（⑥は外国人留学生のみ）です。出願に必要な書類の送付は、②の入学検定料の支払完了後に行います。インターネット出願サイトより該当書類及び「封筒貼付用宛名シート」を印刷して、封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付し、下記①～⑥（⑥は外国人留学生のみ）のすべての出願に必要な書類を封筒に入れて提出期間に簡易書留・速達郵便で本学へ送付してください。

海外からの発送はDHL、EMSなど確実に届く方法で本学に送付してください。

| 必要書類 | 要領等 | 注意事項等 |
|---|--|---|
| ①出願資格を証明する書類 全員 | <p>出願資格を証明する書類として、下記 (A) ～ (E) の該当する項目の書類を用意し、提出してください。</p> <p>(A) 高等学校卒業生及び卒業見込者 調査書 出身学校長が作成した調査書 ※ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の事情により出身学校長から調査書が得られない場合は、下記の書類を全て提出してください。 ・卒業証明書 ・成績証明書 ※成績証明書が発行できない場合は、それに単位習得証明書または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出してください。 ※廃校等により出身学校長の証明が得られない場合は、出身学校を所管する教育委員会または知事が作成したこれらに関する書類をあわせて提出してください。 ※英語や中国語など、日本語以外の言語で書かれている場合は日本語訳を添付すること。</p> <p>(B) 中等教育学校卒業生及び卒業見込者 調査書 出身学校長が作成した調査書 ※ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の事情により出身学校長から調査書が得られない場合は、下記の書類を全て提出してください。 ・卒業証明書 ・成績証明書 ※成績証明書が発行できない場合は、それに単位習得証明書または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出してください。 ※廃校等により出身学校長の証明が得られない場合は、出身学校を所管する教育委員会または知事が作成したこれらに関する書類をあわせて提出してください。 ※英語や中国語など、日本語以外の言語で書かれている場合は日本語訳を添付すること。</p> <p>(C) 出願資格 (3) 項ア・ウ・エ・カに該当する者 修了 (見込) 証明書、成績証明書</p> <p>(D) 高等専門学校第3学年修了者及び出願資格 (3) 項イの該当者 調査書の様式に準じた成績証明書</p> <p>(E) 高等学校卒業程度認定試験合格者 (大学入学資格検定合格者を含む) 合格 (見込) 成績証明書 ※ただし、高等学校等において科目を履修したことにより受験科目を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書または成績証明書をあわせて提出してください。合格証明書は不要です。</p> | <p>調査書、成績証明書等は、発行年月日は問わない。 ※ただし、既に高等学校等を卒業している者は卒業後に発行したものに限り出願資格については2ページ参照。</p> |
| ②入学願書 全員 | インターネット出願サイトからカラー印刷したものを提出してください。 | 氏名は原則、戸籍と同一文字とする。現住所は、願書記入時の住所でよい。日本国籍以外の場合は、在留資格を記入すること。 |
| ③写真票 全員 | インターネット出願サイトからカラー印刷 (入学願書を印刷すると、自動的に印刷されます) したものを提出してください。 | |
| ④大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙 全員 | インターネット出願サイトからカラー印刷 (入学願書を印刷すると、自動的に印刷されます) の上、「令和7共通テスト成績請求票 (国公立前期日程)」を貼って提出してください。 | 大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙に貼る「成績請求票」は、大学入試センターから交付された令和7年度大学入学共通テスト成績請求票のうち、「国公立前期日程」を貼ること。紛失等により再交付を受けた場合は、再交付後のものを貼ること。これ以外の成績請求票を使用した場合や未提出の場合には出願書類等は受理しないので注意すること。 |
| ⑤大学入学共通テスト受験票のコピー (または日本留学試験受験票および成績確認書のコピー) 全員 | 各自が所持している「大学入学共通テスト受験票」をA4用紙の横長に収まるようにカラーコピーし、提出してください。 ※私費外国人留学生は、「日本留学試験受験票」および「成績確認書の写し」をA4用紙の横長に収まるようにカラーコピーし、提出してください。 | 原本は提出しないこと。原本は試験当日、本学部の受験票とともに持参すること。 |
| ⑥パスポートのコピー 外国籍を有する者 | 顔写真、氏名が記載されているページのコピーを提出してください。 ※パスポートの有効期限が切れていても構いません。 ※在留カードや住民票でも可能。 ※A4サイズ用の紙にコピーして提出してください。 | |

| 出願に必要な書類送付に際して用意するもの | |
|----------------------|--|
| 封筒 | 市販の角2封筒(240mm×332mm)を各自で用意 |
| 封筒貼付用宛名シート | インターネット出願サイトよりカラー印刷 入学願書を印刷すると、自動的に印刷されます。印刷した宛名シートを封筒に貼り付けて、出願に必要な書類を封入の上ご送付ください。 |

出願に必要な書類提出先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部

【出願に必要な書類に係わる注意事項】

- ・ 出願に必要な書類は、提出期間（消印有効期間）内に到着の郵送受付に限ります。本学に直接持参したものは一切受け付けません。また、提出期間内に届かない出願に必要な書類は、いかなる理由でも受け付けません。
- ・ 郵送された出願に必要な書類の受領確認に関する問い合わせは受け付けられません。
- ・ 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等（戸籍抄本等、コピーでも可）を提出してください。
- ・ 英語や中国語など、日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付してください（翻訳に関する公的証明書は不要、出願者が訳したものでかまいません）。
- ・ **提出する証明書類は、すべて原本が原則**です。
- ・ 提出された書類は基本的には返却しません。再発行不可能な証明書等の原本を本学に送付し、返却を希望する場合は必ずその旨を記載したメモを添えてください。
- ・ 出願資格を証明する書類（23ページの表①）に関して、発行を受けた書類が厳封されているものはそのまま提出してください（開封済の調査書は不可）。ただし、調査書以外の証明書で厳封されていないものは、発行元の封筒から出して提出してください（封筒は提出不要）。
- ・ 出願に必要な書類送付の際、封筒には出願者1名の書類のみ入れてください（複数の出願者の書類が入っていた場合、すべて無効となります）。
- ・ その他、必要に応じて証明書等の提出を本学が求める場合があります。

④ 受験票の印刷

受験票は、願書受理後にインターネット出願サイトのマイページから印刷できるようになります。登録されたメールアドレスに受験票取得可能の通知メールが届いたら、マイページにログインして受験票の印刷をしてください。受験票は**志願者が各自でA4サイズの用紙にカラー印刷し、試験当日は切り取り線で切り取ったものを必ず持参してください**。受験票がない者は、試験室に入れないので注意してください。

なお、受験票は本学からは発送されません。

| 受験票の印刷期間 |
|--|
| 2025年2月14日（金）16：00頃 ※受験票取得可能の通知は順次送られますので、メールの到着をお待ちください。 |

| 試験当日に必ず持参してください |
|---|
| ●本学部の「受験票」 ※切り取り線に沿って切り、持参すること ●「大学入学共通テスト受験票」 ※私費外国人留学生は、「日本留学試験受験票」を持参すること |

【受験票に係わる注意事項】

- ・ 受験票を印刷後、記載内容について必ず確認してください。インターネット出願サイトで登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合は、美術学部教務係へ2025年2月17日（月）までに連絡してください（マイページにログインする事で登録内容の確認が可能です）。
- ・ 2025年2月17日（月）になっても、受験票取得可能の通知が届かない場合は美術学部教務係へ2025年2月18日（火）までに連絡してください。
- ・ 試験当日は受験票が必要です。出願登録した際の受付番号等では受験できません。
- ・ インターネット出願登録した際の12桁の受付番号と受験番号は異なります。
- ・ 出願登録完了後にメールアドレスを変更すると、受験票取得可能の通知メールが届きませんのでご注意ください。

連絡先：東京藝術大学美術学部教務係

Tel：050-5525-2122（平日9：00～12：30、13：30～16：30／土・日・祝日、本学の冬季休業期間、年末年始を除く）

Email：bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp

VI 入学試験及び合格者発表

1. 試験場

上野校地 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

[交通機関]

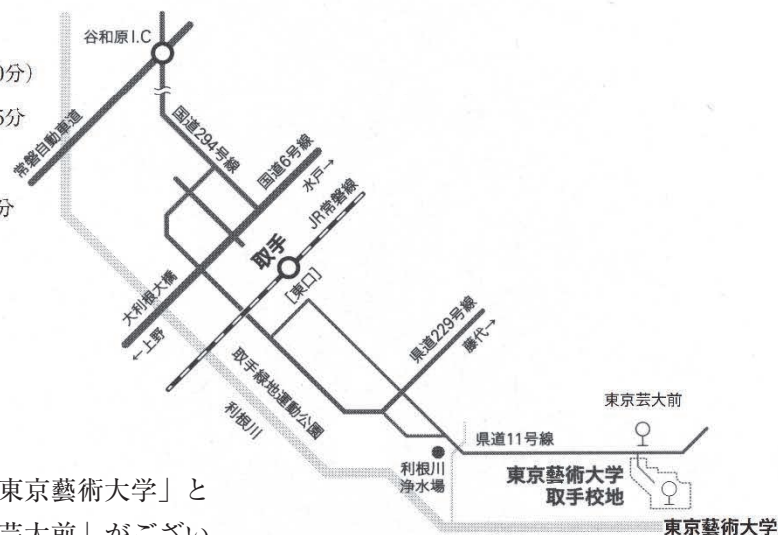
- (J R) 上野駅公園口
鶯谷駅下車徒歩約10分
- (東京メトロ) 銀座線, H比谷線
上野駅下車徒歩約15分
千代田線
根津駅下車
徒歩約10分



取手校地 〒302-0001 茨城県取手市小文間5000

[交通機関]

- (J R) 取手駅 (上野駅から常磐線40分)
東口から大利根交通バス約15分
「東京藝術大学」下車すぐ
「東京芸大前」下車 徒歩10分



※学校敷地内に停車するバス停は「東京藝術大学」となります。このバス停の他に「東京芸大前」がありますが、学校敷地外となり、大学まで徒歩10分ほどを要します。お間違えのないようご注意ください。
詳しくは大利根交通バスのホームページをご確認ください。

<http://otonekotu.com/>

2. 試験科目及び試験日程（本学部の試験は、前期日程で実施します。）

| 試験科目 | 試験日程 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○実技試験 芸術学科の小論文選択を除き全学科（専攻）に課します。 ○面接 絵画科油画専攻のみ課します。 ○学科試験 芸術学科のみ課します。 ○小論文 先端芸術表現科の小論文選択及び芸術学科の小論文選択のみ課します。 | <p>試験は、30～31ページの試験日程表等により実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 試験日を間違えた場合は、受験資格を失うので十分注意してください。 2. 試験日の選択・変更は、一切認めません。 |

絵画科油画専攻の試験科目について

絵画科油画専攻では第1次実技試験合格者に面接を実施する。

デザイン科の試験科目について

デザイン科の第1次試験「鉛筆写生」では、石膏像デッサン又は構成デッサンのいずれかを出願時に志願者が選択します。（出願後の変更は一切認めません。）

ただし、石膏像デッサン、構成デッサンは試験日が異なります。

2月28日（金）石膏像デッサン 3月1日（土）構成デッサン

先端芸術表現科の試験科目について

先端芸術表現科の第1次試験では、素描又は小論文のいずれかを出願時に志願者が選択します。（出願後の変更は一切認めません。）

第1次（素描）2月25日（火）または（小論文）2月26日（水）、第2次（総合実技）3月4日（火）、5日（水）により選抜します。なお、すべての受験者は(1)個人資料ファイル（受験者の活動内容をまとめたもの）を提出しなければなりません。

(1) 個人資料ファイル

A4判ファイル1冊を使用し、20ページ以内に、これまでの自己の活動内容をまとめたもの。以下の①から④の内容を含むものにしてください。受験番号と氏名を明記してください。

- ① 高校時代から現在までの履歴（1ページ以内）
- ② 本科を志望する理由（1ページ以内）
- ③ 本科の志望につながるこれまでの活動紹介
- ④ 入学後に本科で行いたいことの具体的内容

※個人資料ファイル内にCD、DVD等の資料を添付することは認めません。

(2) 提出日時・場所

2025年2月17日（月）～2月20日（木）**書留・速達郵便または宅配便による提出のみ（消印有効期間）。**期限厳守

※期間後に到着したものは一切受け付けません。

※バイク便での提出は認めていません。

※提出資料用シートに受験番号を記入し、個人資料ファイルの表紙に貼付のうえ送付してください。

提出資料用シートは、40ページにあります。

送付先…〒302-0001 茨城県取手市小文間5000 東京藝術大学 取手校地事務室

※送付する封筒の表側左端に受験番号及び「**先端芸術表現科個人資料ファイル在中**」と必ず朱書して送ってください。

(3) その他

提出後の個人資料ファイルの差替え、内容訂正等は一切認めません。

なお、個人資料ファイルは、一切返却しません。

芸術学科の試験科目について

芸術学科の2月27日（木）の試験では、小論文又は鉛筆素描のいずれかを出願時に志願者が選択します。（出願後の変更は一切認めません。）

なお合格者は、小論文と鉛筆素描の選択科目ごとに判定され、合格者数は原則として、小論文と鉛筆素描の受験者数に応じて比例配分されます。

3. 持参用具・注意事項

受験当日、次の持参用具を用意してください。(指定した用具以外は持参の必要はありません。)

- ・携帯電話及び撮影・通信機能を備えた電子機器の使用を禁止します。違反した場合は、失格の可能性にあります。また、試験時間中は大学、専攻学科で保管することがあります。
- ・時計については、通信機能のないものを持参してください。
- ・試験が午前と午後にもたがる場合は昼食を持参してください。

○絵画科日本画専攻の持参用具について

| 科・専攻 | | 実技試験 | | 持参用具および注意事項 |
|------|-------|------|------|--|
| 絵画科 | 日本画専攻 | 第1次 | 鉛筆素描 | 鉛筆素描に必要な用具一式 (画板、用紙、イーゼルは用意してあります。定着液は不要です。) |
| | | 第2次 | 着彩写生 | 着彩写生に必要な用具一式 (画板、用紙、イーゼルは持参の必要はありません。絵具は水彩絵具を使用すること。) |

※定規等長さを計る機能を持った用具を禁止する。

〈その他の注意事項〉

- ・試験中に出たゴミ(鉛筆の削りカス等)は各自で持ち帰ってください。

○絵画科油画専攻の持参用具について

| 科・専攻 | | 実技試験 | | 持参用具および注意事項 |
|------|------|------|----|--|
| 絵画科 | 油画専攻 | 第1次 | 素描 | 木炭および鉛筆素描用具一式、下敷用紙(未使用の木炭紙に限る) ※木炭紙(50×65cm)、カルトン、イーゼルは用意してあります。定着液は各自で持参してください。 |
| | | 第2次 | 絵画 | 油彩表現に必要な用具一式(絵具は油絵具を使用) ※キャンバス(20号)、イーゼル、スケッチブックは用意してあります。 ※スケッチブックに使用できる用具は鉛筆、木炭、チャコールペンシル、コンテ、消具です。定着液は各自で持参してください。 ※3日目は面接のみ行うので、描画用具は持参しないこと。 |

〈試験に関する注意事項〉

本試験は、規定の試験時間内・試験会場内での描画を審査対象とするものであるため、受験生は以下の点に留意すること。

- ・持参資料を閲覧しながら制作することを禁じます。
- ・指定の描画材以外のものを素描用紙およびキャンバスに貼り付けたまま提出することを禁じます。
- ・他者への迷惑になる用具の使用を禁じます。
- ・与えられた素描用紙およびキャンバスの四辺に拡張や変更を加えた状態での提出を禁じます。
- ・カルトンおよびキャンバスはイーゼルに立てられる状態での提出に限りです。

〈その他の注意事項〉

- ・第1次・第2次試験ともに、原則として9:00に各試験場にて出席点呼を行うので、時間に余裕をもって集合してください。出席点呼時に不在の場合、試験場への入場は実技試験開始後となりますが、試験時間の延長は行いません。
- ・第1次試験終了後、解散までは1時間を越える時間を要します。
- ・第2次試験3日目・面接の集合時間については、第1次試験合格者発表時に周知します。

○彫刻科の持参用具について

| 科・専攻 | | 実技試験 | | 持参用具および注意事項 |
|------|--|------|----|---|
| 彫刻科 | | 第1次 | 素描 | 木炭素描に必要な用具一式、下敷用紙(未使用の木炭紙)、定着液 ※カルトン、用紙、イーゼルは用意してあります。 |
| | | 第2次 | 彫刻 | 未使用のスケッチブック、筆記用具 ※彫刻制作に必要な用具一式は用意してあります。 |

〈その他の注意事項〉

- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み・使用はできません。

○工芸科の持参用具について

| 科・専攻 | | 実技試験 | | 持参用具および注意事項 |
|------|--|------|------|--|
| 工芸科 | | 第1次 | 鉛筆写生 | 鉛筆写生に必要な用具一式 (画板、用紙、イーゼルは用意してあります。定着液は不要です。) |
| | | 第2次 | 平面表現 | 水性絵具、筆、筆洗、筆拭き、パレット、鉛筆、消ゴム、カッターナイフ、直定規1本(60cm以下)、三角定規1組(30cm程度) |
| | | | 立体表現 | 鉛筆、消ゴム、カッターナイフ、直定規1本(60cm以下)、三角定規1組(30cm程度) |

〈その他の注意事項〉

- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み・使用はできません。

○デザイン科の持参用具について

| 科・専攻 | 実技試験 | | 持参用具および注意事項 |
|-------|------|-------------------------------|---|
| デザイン科 | 第1次 | 鉛筆写生 (石膏像デッサン) (構成デッサン) | 鉛筆写生に必要な用具一式 (画板, 用紙, イーゼルは用意してあります。定着液は不要です。) |
| | 第2次 | デザインI(色彩) | 色彩表現に必要な用具一式(絵具は水性絵具を使用), 鉛筆, 消ゴム, カッターナイフ, 直定規(60cm以下), 三角定規, コンパス (他の用具は用意してあります。) |
| | | デザインII(形体) | 鉛筆, 消ゴム, カッターナイフ, 直定規(60cm以下), 三角定規, コンパス (他の用具は用意してあります。) |

〈その他の注意事項〉

- ・指定された持参用具以外のものの持ち込み・使用を禁止します。
- ・電動用具及び他の受験生に迷惑になる用具(音の出るもの, 飛散するもの)の使用を禁止します。
- ※上記内容に違反した場合, 失格の可能性がります。

○建築科の持参用具について

| 科・専攻 | 実技試験 | | 持参用具および注意事項 |
|------|------|------|--|
| 建築科 | | 空間構成 | 鉛筆(描画用), 消ゴム, 三角定規(30cm程度一組), カッターナイフ, はさみ |
| | | 総合表現 | 鉛筆(描画用), 色鉛筆(描画用), 消ゴム, 三角定規(30cm程度一組), カッターナイフ, はさみ |

〈その他の注意事項〉

- ・試験日については, 31ページ記載の通り, 3月7日(金)・空間構成, 3月8日(土)・総合表現を実施予定です。
- ・上記の持参用具は配付しませんので各自必ず持参してください。
- ・サークルカッター等の一定の図形を切るためのカッターは禁止します。
- ・その他の必要なものは, 本学で用意します。

○先端芸術表現科の持参用具について

| 科・専攻 | 実技試験 | | 持参用具および注意事項 |
|---------|------|------|---|
| 先端芸術表現科 | 第1次 | 素描 | 鉛筆素描に必要な用具一式 (画板, 用紙, イーゼルは用意してあります。定着液は不要です。) |
| | | 小論文 | 鉛筆(シャープペンシル可), 消ゴム |
| | 第2次 | 総合実技 | 鉛筆, 消ゴム, カッターナイフ (他の用具は用意してあります。) |

〈その他の注意事項〉

- ・第1次試験日については, 30ページ記載の通り, 2月25日(火)・素描, 2月26日(水)・小論文を実施予定です。

○芸術学科の持参用具について

| 科・専攻 | 試験科目 | | 持参用具および注意事項 |
|------|-------|-----------|---|
| 芸術学科 | 2月26日 | 外国語 | 鉛筆(インクの出る筆記用具は使えません。シャープペンシル可), 消ゴム |
| | | 地理歴史 | |
| | 2月27日 | 小論文 | 鉛筆(インクの出る筆記用具は使えません。シャープペンシル可), 消ゴム |
| | | 鉛筆素描(石膏像) | 鉛筆素描に必要な用具一式 ※画板, 用紙, イーゼルは用意してあります。定着液は不要です。 |

〈その他の注意事項〉

- ・2月27日(木)の試験は, 小論文・鉛筆素描より, あらかじめ出願時に選択した1科目を受験してください。

試験日程表

試験日を間違えた場合は受験資格を失いますので十分注意してください。

| 学科 (専攻) | 日程 2025年2月 17(月)~20(木) | 25(火) | 26(水) | 27(木) | 28(金) | 3月 1(土) | 2(日) |
|------------|--|--|---|---|--|---|--|
| 日本画 | | | | | | | (集合8:20) 9:00~15:30 集合場所：絵画棟④ 鉛筆素描 ＜持参用具＞ 28ページ参照 |
| | | (集合8:50) 10:00~15:00 集合場所：構内各試験場 (上野校地) 素描 ＜持参用具＞ 28ページ参照 | | | | | 第1次合格者発表 15:00 |
| 油画 | | | | | | | |
| 彫刻 | | | | | | | |
| 工芸 | | | | | | | |
| デザイン | | | | | (集合8:30) 9:00~16:00 集合場所：絵画棟④ 鉛筆写生 石膏像デッサン ＜持参用具＞ 29ページ参照 | (集合8:30) 9:00~16:00 集合場所：総合工房棟②、彫刻棟③ 鉛筆写生 構成デッサン ＜持参用具＞ 29ページ参照 | |
| | | | | | 石膏像デッサン・構成デッサンより、あらかじめ入学願書で選択した1科目を受験してください。 | 石膏像デッサン・構成デッサンより、あらかじめ入学願書で選択した1科目を受験してください。 | |
| 建築 | | | | | | | |
| 先端芸術表現 | 個人資料 ファイル 提出期間 書留・速達郵便又は宅配便のみ(消印有効期間) 27ページ参照 | (集合9:30) 10:30~16:00 集合場所：取手校地 メディア教育棟 素描 ※29ページ注意事項参照 ＜持参用具＞ 29ページ参照 | (集合9:40) 10:30~13:30 集合場所：取手校地 メディア教育棟 小論文 ※29ページ注意事項参照 ＜持参用具＞ 29ページ参照 | | | | |
| | | 素描・小論文より、あらかじめ入学願書で選択した1科目を受験してください。 | | | | | |
| 芸術学 | | | (集合9:50) 集合場所：中央棟① 10:30~12:00 外国語 (英・独・仏より あらかじめ出願 時に選択した 1科目を受験) | 13:30~15:00 地理歴史 (世界史探究・ 日本史探究より 1科目を選択し て受験) | (集合9:50) 集合場所：中央棟① 10:30~12:30 小論文 | (集合9:20) ①②④ ③⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕ ①10:00-13:00 ②13:20-16:20 鉛筆素描 (石膏像) ・小論文・鉛筆素描より、あらかじめ出願時に選 択した1科目を受験。 ・鉛筆素描受験者は③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕ ⑥のグループ分けは前日(2月26日)に決定。 | |
| | | | ＜持参用具＞ 29ページ参照 ※一次合格者選抜は行わない | | | | |

| 3 (月) | 4 (火) | 5 (水) | 6 (木) | 7 (金) | 8 (土) | 9 (日) | 10 (月) | 14(金) | | |
|--|--|--|---|---|--|---|--|------------------------------------|--------|--|
| (集合8:20)9:00~15:30 集合場所: 絵画棟A 鉛筆素描 ＜持参用具＞ 28ページ参照 | | 第1次合格者発表 15:00 | (集合8:20)9:00~15:30 集合場所: 絵画棟A 着彩写生 ＜持参用具＞28ページ参照 | (集合8:20)9:00~15:30 | | | | 最終合格者発表 10:00 | 日本画 | |
| | | | | (集合8:50)10:00~16:00 集合場所: 絵画棟A 絵画 ＜持参用具＞28ページ参照 | (集合8:50)10:00~16:00 集合場所: 絵画棟A 面接 ※面接の集合時間等の詳細は、第1次試験合格者発表時に周知します。 | | | | 油画 | |
| | | (集合8:20)9:00~16:00 集合場所: 彫刻棟B 素描 ＜持参用具＞ 28ページ参照 | | | 第1次合格者発表 15:00 | (集合8:20)9:00~16:00 集合場所: 彫刻棟B 彫刻 ＜持参用具＞ 28ページ参照 | | | 彫刻 | |
| (集合8:10)9:00~16:00 集合場所: 総合工房棟D 鉛筆写生 ＜持参用具＞ 28ページ参照 | | 第1次合格者発表 15:00 | (集合9:15)10:00~16:00 集合場所: 総合工房棟D 平面表現 ＜持参用具＞ 28ページ参照 | (集合9:15)10:00~16:00 集合場所: 総合工房棟D 立体表現 ＜持参用具＞ 28ページ参照 | | | | | 工芸 | |
| | | 第1次合格者発表 15:00 | | | | (集合8:30)9:00~15:00 集合場所: 総合工房棟D デザインI(色彩) ＜持参用具＞ 29ページ参照 | (集合8:30)9:00~15:00 集合場所: 総合工房棟D デザインII(形体) ＜持参用具＞ 29ページ参照 | | デザイン | |
| | | | | (集合8:20)9:00~12:00 集合場所: 中央棟C 空間構成 ＜持参用具＞ 29ページ参照 | (集合8:20)9:00~17:00 集合場所: 中央棟C 総合表現 ＜持参用具＞ 29ページ参照 | ※29ページ 建築科注意事項参照 | | | 建築 | |
| | | | | ※一次合格者選抜は行わない | | | | | | |
| 第1次合格者発表 15:00 | 集合場所: 取手校地 メディア教育棟 総合実技 ＜持参用具＞29ページ参照 | | | | | | | | 先端芸術表現 | |
| | | | | | | | | | 芸術学 | |

集合場所等

1. 受験生は、試験当日、この試験日程表に示した集合時刻・集合場所に直接集まってください。
2. 集合場所が複数に分かれている場合は、試験当日の指示に従ってください。
3. 試験が午前・午後にわたる時は、昼食や飲み物を持参してください。
4. 休憩時間については、各学科・専攻の指示に従ってください。

◆東京藝術大学上野校地試験場



◆東京藝術大学取手校地試験場



※大学構内は、昼食時間も含め全面禁煙です。

4. 合格者発表

(1) 第1次試験合格者発表

本学ホームページ・入試情報サイト〔<https://admissions.geidai.ac.jp/>〕に試験日程表に示したとおり、各合格発表日の15時より合格者の受験番号等を掲載します。

※第2次試験の連絡事項を掲載する場合がありますので、必ず試験日程表に示した日に合否確認を行ってください。

※第1次試験に合格しない場合、第2次試験以降は受験できません。また、最終合格発表まで書類手続はありません。

(2) 最終合格者発表

3月14日(金)10時より本学ホームページ・入試情報サイト〔<https://admissions.geidai.ac.jp/>〕に合格者の受験番号を掲載します。

入学手続書類は、出願時に申告した住所へ、3月14日(金)中に大学から合格者へ発送します。また、合格発表時に指示する方法で、3月15日(土)12時までに、入学意思があることを必ず大学に連絡してください。この連絡がない場合、入学意思が無いものとし、入学を辞退したものとして取り扱います。入学手続方法については入学手続書類を確認してください。

【第1次合格者発表及び最終合格者発表における注意事項】

1. 電話などによる問い合わせには一切応じませんので、受験者本人若しくは代理人が必ず確認してください。
2. 入学定員に欠員が生じた場合、3月28日以降に追加合格を行うので、3月28日から3月31日までの間は、連絡が取れるようにしておいてください。(連絡は大学から行います。受験生からの問い合わせには一切応じません。)
3. 発表開始前後は、本学ホームページにアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。
4. 上野校地内での合格掲示板による発表はありません。合格発表はすべて本学ホームページ・入試情報サイト上で行います。

合格発表URL

<https://admissions.geidai.ac.jp/>

VII 入学手続

最終合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。詳細は最終合格者発表日後に郵送する書類の説明によります。

1. 手続期間

郵送による受付のみ
2025年3月21日(金)まで(消印有効)

2. 入学金等の支払

・最終合格者発表後に配付する振込用紙でのお支払いとなります。

| 種 別 | 金 額 | 備 考 |
|-------------------|----------|--------------------------|
| 入学金(※1) | 338,400円 | 予定額 国費外国人留学生は支払不要 |
| 古美術研究旅行積立金(※2) | 100,000円 | |
| 厚生補導助成金 | 30,000円 | |
| 社の会費(同窓会) | 40,000円 | 入会金及び10年分会費 外国人留学生は免除 |
| 学生教育研究災害傷害保険料 | 3,300円 | 4年間分 |
| 学研災付帯賠償責任保険料 | 1,360円 | 4年間分 |
| 東北写生旅行(日本画専攻のみ) | 85,000円 | |
| キャンパス環境整備支援会費(※3) | 100,000円 | |

※1：入学手続終了者が2025年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学金は返還しません。

※2：美術学部では必修科目として「古美術研究旅行」が指定されており、科(専攻)によって実施年次は異なりますが、学部生全員の参加が義務づけられています。この研究旅行は約2週間に亘り、本学部附属古美術研究施設(奈良市)を拠点に近畿地方の古美術を見学、鑑賞、研究するものです。

※3：本学のキャンパス環境の充実を図るため、本学の施設整備等に対し助成を行う会です。本趣旨にご賛同の上、ご協力(ご入会)をお願いします。(会費入学時のみ支払い/卒業まで有効)。

・授業料については入学後に支払が必要となります。

金額：前期分321,480円、後期分321,480円(年額642,960円)[予定額]

※国費外国人留学生は支払不要です。

- ① 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。
- ② 授業料の支払方法は原則として口座振替となります。入学手続時の案内にしたがって授業料を引き落とす銀行口座を登録してください。
- ③ 2025年度の口座振替日は、前期分5月下旬、後期分11月下旬の予定です。

また、生協加入については別途資料が郵送されます。加入については任意です。
(加入出資金15,000円、その他共済掛金等)

3. 教材費

上記以外に、入学後に教材費の支払いが必要となります。支払方法等は研究室よりご案内します。

| 学科・専攻 | | 金額 | 教材費内訳等 |
|---------|-------|-----------|---|
| 絵画科 | 日本画専攻 | 約50,000円 | 最初に必要な用具用材等購入費の目安です。入学後に各自購入。 |
| | 油画専攻 | 200,000円 | カリキュラム実習費、用具等購入費です。入学時に全額支払。 |
| 彫刻科 | | 約290,000円 | 彫刻用具等の購入費です。入学時に全額支払。 |
| 工芸科 | | 200,000円 | 工芸基礎教材費(実習費、実技材料費、用具購入費、設備維持費、研修旅行費、古美研補助費等)入学時に全額支払。 |
| デザイン科 | | 250,000円 | 実習費、材料費、設備維持費、研修費です。入学時に全額支払。 |
| 建築科 | | 140,000円 | 製図用消耗品等の購入費です。入学時に全額支払。 |
| 先端芸術表現科 | | 260,000円 | コンピューターソフト関連費、研修費、IMA演習、IMA実技等の教材費です。入学時に全額支払。 |
| 芸術学科 | | 75,000円 | 実技費、研修旅費、古美研補助費等です。入学時に全額支払。 |

※税制の変動等により金額が変更することがありますので、合格後に配布される入学手続き書類を必ずご確認ください。

4. 留意事項

- (1) 上記1の入学手続き期間内に入学手続きをしない者は、入学を辞退したものと取り扱います。
- (2) 他の国公立大学に入学手続きをした者は、これを取消して本学部の入学手続きを行うことはできません。
- (3) 本学部に入学手続きを行った者は、これを取消して他の国公立大学に入学手続きを行うことはできません。
- (4) 日本入国査証について
 - ・日本入国の査証申請は、入学手続きとは別に、入学希望者が本人の責任で行って下さい。受験のために「短期滞在」の在留資格で来日することは可能ですが、入学が決定した場合は、入学までに「留学」の在留資格を取得してください。
「短期滞在」の在留資格で入国した場合、原則日本国内に滞在したまま在留資格を「留学」に変更することはできないので(一度帰国後、在留資格認定証明書の申請を行い、母国の日本大使館・領事館での査証/ビザ申請が必要)、その点予めご了承ください。
在留資格認定証明書(COE)の代理申請を東京藝術大学が行うことを希望する者は、合格者に案内する必要書類を入学手続き時に提出してください。
※在留資格の取得審査の審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。
※留学生を対象とする授業料や入学料免除・徴収猶予および大部分の各種奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。
※「在留資格認定証明書」の交付申請が重複しないように注意してください。
(例：他大学にも合格した場合や、何らかの事情ですでに有効な「在留資格認定証明書」を有している場合など。)申請が重複している場合、証明書は交付されません。本学による代理申請を希望する場合には、すでに申請している機関に取り下げを依頼してください。

5. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

(1) 概要

本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度があるので、希望する者は、入学料・授業料の支払前に、下記(2)の申請要件および(3)の対象者を確認のうえ、所定の手続きを行ってください。

支払後の申請は出来ないので注意してください。また、入学料免除も授業料免除も、申請しても不許可となる場合があるため、入学料・授業料の支払の準備は事前に十分に行っておいてください。

(2) 申請要件

① 入学料免除

- ・経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合(下記(3)の①の対象者のみ)
- ・入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等で災害を受けたことにより、入学料の納付が困難であると認められる場合
- ・上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

② 入学料徴収猶予

- ・経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ・入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の被害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
- ・その他やむを得ない事情があると認められる場合

③ 授業料免除

- ・経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ・授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の被害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる場合

④ 授業料徴収猶予

- ・経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ・授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の被害を受けたことにより、納付期限までに授業料の納付が困難であると認められる場合
- ・その他やむを得ない事情があると認められる場合

(3) 対象者

① 高等教育の修学支援新制度の対象者について

本学は、2020年度より開始された高等教育の修学支援新制度の対象機関（認定大学）です。

入学料・授業料の免除・徴収猶予を希望する場合は、JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）の給付奨学金への申込みが必要となりますので、JASSOへの申込みを必ず行って下さい。その上で、入学料・授業料の免除・徴収猶予について、本学所定の申請書で、本学に申し込んでください。

② 高等教育の修学支援新制度の対象外となる者について

高校の卒業年度等を理由に、上記①の修学支援新制度の支援対象とならなかった者（※）に対し、芸術教育の機会均等のための授業料免除制度があります。

修学支援新制度の申請資格があるにも拘わらず申請しなかった者は、本学の独自制度の対象となりませんので、注意してください。

※ 高校等を初めて卒業した日の属する年度の翌年度の末日から、大学に入学した日までの期間が2年を経過した者（いわゆる3浪以上の者）、高卒認定試験合格者については、当該試験受験資格取得年度の初日から認定試験合格日の属する年度の末日までの期間が5年を経過している者。

制度の詳細については、本学ホームページを確認すること。

入学料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_deferral_admission

授業料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_deferral_tuition

※令和7年度より、多子世帯への授業料無償化の支援が行われる予定ですが、詳細については決まり次第、上記HP等でご案内予定です。

6. 「修学支援奨学金（給付型）」について

経済的理由により授業料の納付が困難であるが、「学業優秀と認められる場合」に該当せず上記の授業料免除の対象とならない者で所定の要件を満たす場合は、半期5万円（年額10万円・返済義務なし）を給付する奨学制度があります。

希望する者は上記の授業料免除手続きと同時に所定の手続きを行う必要があります。

7. 優秀学生への奨学金について

本学では、在学中特に優れた成績を修めた者に対し、各種の奨学金制度を設けてこれを表彰し、才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援しています。これらは返済不要の給付型奨学金です。制度の詳細については本学ホームページを確認してください。

(1) 在学時の学業成績等により採用されるもの

平山郁夫奨学金 [対象：給付額：美術学部(学部・大学院) / 200,000円]

宮田亮平奨学金 [対象：給付額：美術学部3年生以上 / 100,000円]

など

https://www.geidai.ac.jp/life/scholarship/geidai_scholarship

(2) その他の支援制度

上記以外にも、石橋財団奨学金、よんでん文化振興、戸部真紀財団、などの民間奨学財団、地方公共団体へ大学から推薦した学生が、毎年、奨学生として採用されています。

8. 藝心寮(学生寮)について

(1) 申込方法

申込方法は下記の本学藝心寮ページよりご確認ください。

藝心寮ページ <https://www.geidai.ac.jp/life/welfare/geishinryo>

(2) 募集期間

① 合格前予約の募集期間 2025年1月7日(火)～3月4日(火)

② 合格後の募集期間* 2025年3月14日(金)～3月15日(土)

※合格前予約制度合格者の数に応じて募集を行わない可能性もあります。

(3) 入寮申込・問い合わせ先

学生マンション総合案内センター「東京藝術大学藝心寮 受付窓口」

(株式会社毎日コムネット 東京駅前センター内)

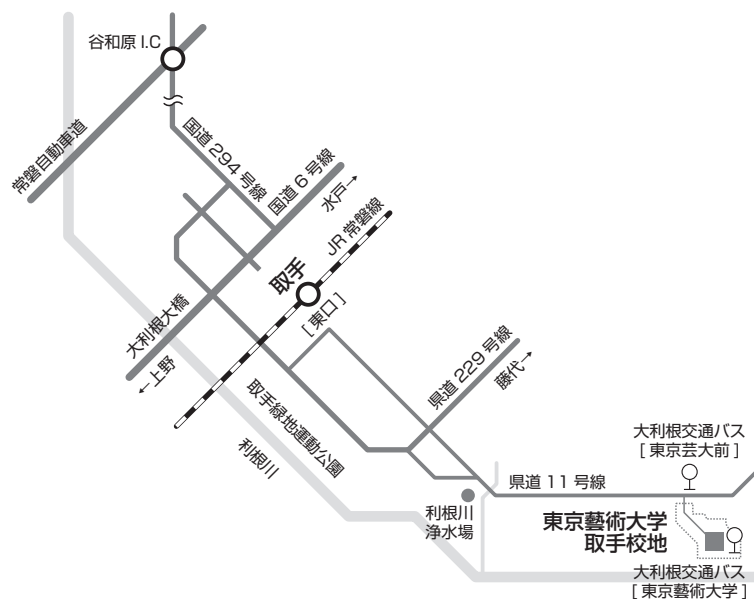
フリーダイヤル0120-423-280 電話03-5204-8502 FAX 03-5204-8503

■本学の取手校地キャンパス

先端芸術表現科の2年次以降及び、工芸科素材造形分野に対しては、取手校地で授業を行います。また学部生が履修できる一部の授業科目が取手校地で開講されています。

[取手校地所在地]

〒302-0001
茨城県取手市小文間5000



[交通機関]

JR取手駅（JR上野駅から常磐線で約40分）東口から、大利根交通バスで約15分「東京藝術大学」下車すぐ、「東京芸大前」下車徒歩約10分
学校敷地内に停車するバス停は「東京藝術大学」となります。このバス停の他に「東京芸大前」がございますが、学校敷地外となり、本学まで徒歩10分ほどを要します。お間違えのないようにご注意ください。詳しくは大利根交通バスのホームページをご確認ください。

<http://otonekotu.com/>

お知らせ

◎入試情報の開示について

申請方法等は次のとおりです。

1. 申込方法

インターネット出願サイト内で申請してください。成績開示手数料として、500円が必要となりますので、入学検定料と併せてお支払いください。

※郵送および出願後の成績開示請求は一切受け付けませんので、成績開示を希望する者は出願時に必ず申請してください。

2. 申請期間

2025年1月27日（月）10：00～2月5日（水）23：59まで（インターネット出願時）

3. 開示内容

- (1) 当該年度（2025年度）入試の個人成績のみ開示します。
- (2) 個人成績を得点又は段階評価委で開示します。なお、学科によっては評価を2段階で示す場合もあり、合否判定と2段階評価が直接結びつくことがあります。

4. 開示方法

インターネット出願サイトのマイページ上で開示します。出願時に登録したメールアドレスとパスワードは必ず控えてください。マイページにログインする際に必要です。特にパスワードを忘れた際は、出願時に登録したメールアドレスでのみ、リセットの作業が可能になります。

5. 開示期間

2025年5月15日（木）～2025年6月14日（土）

◎個人情報の取扱いについて

個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1)合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2)入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3)入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4)入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5)入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第69条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

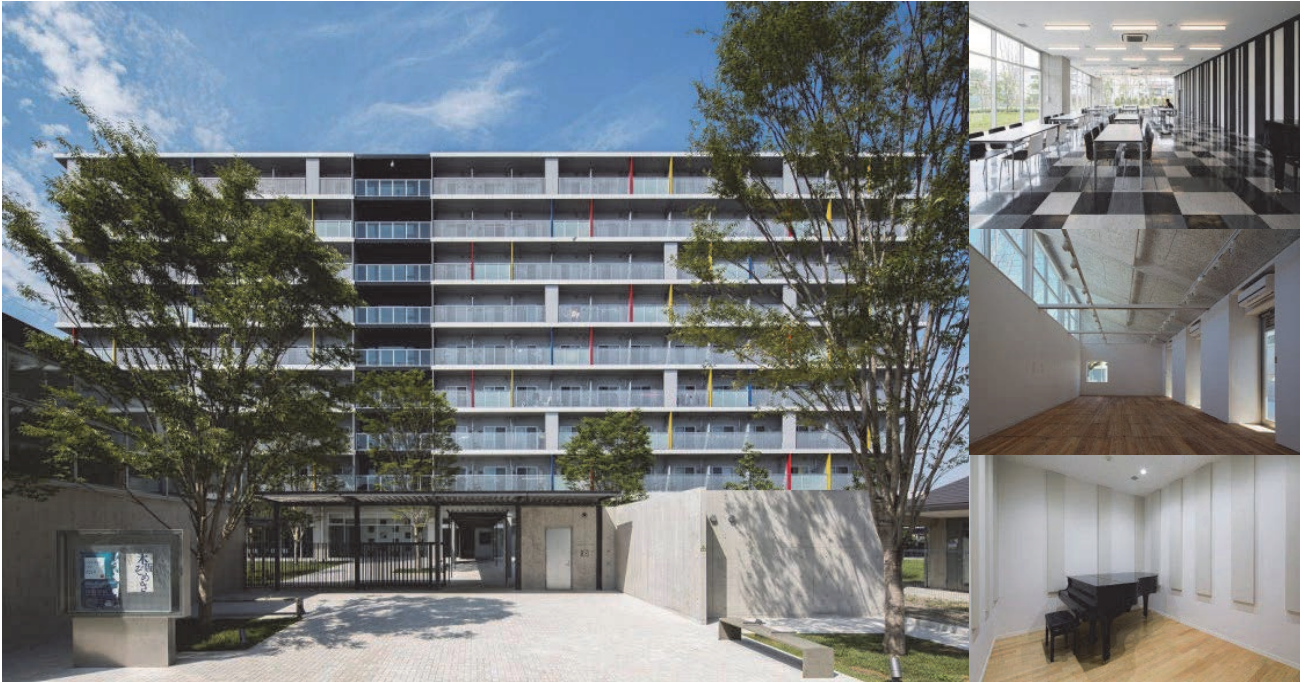
- (1)上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2)国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名・高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3)本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生活協同組合
 - ⑤東京芸術大学キャンパス環境整備支援会（本学のキャンパス環境の充実を図るため、本学の施設整備等に対し助成を行う会）

[先端芸術表現科提出資料用シート]

| | | | |
|--------------------|------|--------------------|------|
| 先 端 芸 術 | 受験番号 | 先 端 芸 術 | 受験番号 |
|--------------------|------|--------------------|------|

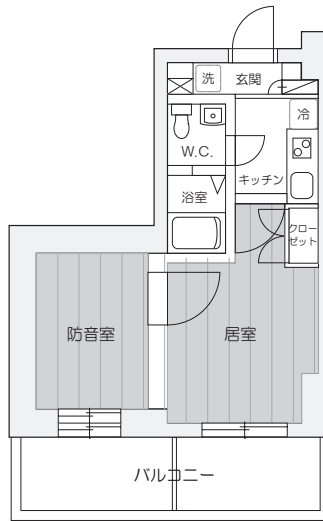
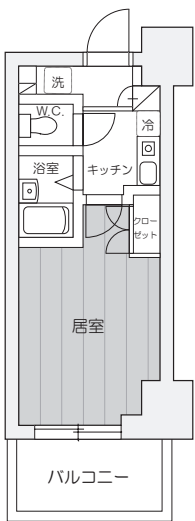
※上記のシートは、印刷して外枠線で切り取り、使用してください。
詳しくは18ページを参照ください。

藝心寮のご案内



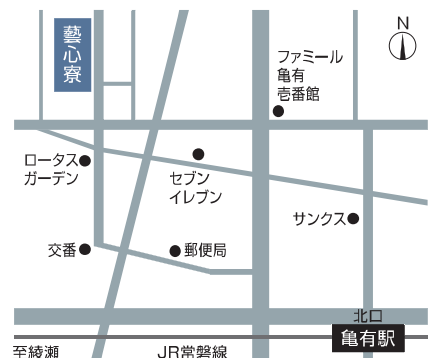
Aタイプ 約18㎡(居室+バルコニー)

Bタイプ 約29㎡(居室+防音室+バルコニー)



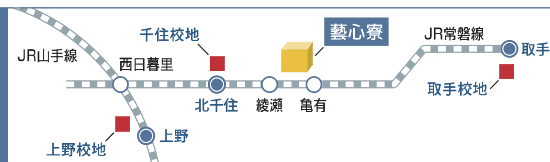
所在地:東京都足立区東和三丁目12番30号
 月額賃料:Aタイプ37,900円(280戸)、Bタイプ76,200円(20戸)
 管理費:8,000円、敷金:なし、更新料:なし
 入居一時金:Aタイプ45,900円、Bタイプ84,200円
 竣工:平成26年2月
 設備:全個室(バス、トイレ、ミニキッチン(IH)、収納、エアコン)

ACCESS MAP



- 1●JR常磐線「亀有」徒歩約15分
- 2●東京メトロ千代田線「北綾瀬」徒歩約16分

各校地への所要時間
 ※JR常磐線亀有駅からの徒歩分を含みます
 上野校地/約47分
 取手校地/約1時間12分
 千住校地/約28分



1. 応募(入寮)資格

- (1) 2025年4月1日に、本学に新たに入学する学生(学部、大学院、研究生及び別科生を含む。以下同じ。)
- (2) 申込み時に本学の学生であり、かつ、2025年4月1日現在も、引き続き本学に在学する予定の学生
- ※ 本学での学生としての身分を喪失した場合は入寮資格を失います。また、休学する場合も、原則として入寮資格を失います。
- ※ 外国人留学生(在留資格が「留学」のもの)で連帯保証人が見つからない場合は、大学が連帯保証人に代わる制度(機関保証)を利用することができます。この機関保証を利用する場合は、必ず「留学生住宅総合補償」(保険料年4,000円、毎年更新)に加入しなければなりません。この制度に加入できなければ、入寮資格を失います。加入の詳細は、入寮決定後に別途お知らせします。
- 制度の概要: <http://www.jees.or.jp/crifs/index.htm>

2. 入寮可能期間

- (1) 在寮期間は、入寮許可された日から、原則、当該学生の修業年限(学部生4年、修士2年、博士3年)の範囲までとします(修業年限には休学期間は含みません)。
- (2) 進学等により、引き続き本学に在学する予定の学生は、進学した課程の修業年限まで延長することが可能です。
- (3) 在寮期間にかかわらず、契約期間は毎年度末での1年更新となります。更新時の更新料は不要です。

3. 入寮申込について

申込方法は下記の本学藝心寮ページよりご確認ください。
藝心寮ページ <https://www.geidai.ac.jp/life/welfare/geishinryo>

4. 入寮受付～入寮までのスケジュール

| | 募集期間 | 対象 | 結果通知 | 入寮日 |
|----------------|---------------------------------|-----|-----------------------|----------------------|
| 1 <合格前予約制度> | 2025年1月7日(火)～ 2025年3月4日(火) | 新入生 | 2025年3月16日(日) | 2025年3月27日以降 (予定) |
| 2※ | 2025年3月14日(金)～ 2025年3月15日(土) | 新入生 | 2025年3月18日(火) 以降随時 | 同上 |

※合格前予約制度合格者の数に応じて募集を行わない可能性もあります。

5. 入寮申込・問い合わせ先

学生マンション総合案内センター「東京藝術大学藝心寮 受付窓口」(株式会社毎日コムネット 東京駅前センター内)
フリーダイヤル: 0120-423-280 (TEL: 03-5204-8502) FAX: 03-5204-8503
東京都中央区八重洲1-3-22 八重洲龍名館ビル4階

6. 入寮者選考

- (1) 自宅等からの通学が困難な者を優先とし、その他、大学が定める選考基準により選考します。
- (2) 応募が募集定員数を超えた場合、選考基準をもとに入寮可否を決定します。

7. 契約時に必要な費用に関して

契約時に賃料および管理費(入寮当月分+翌月分)と入居一時金と火災保険料が必要です。

○ 月の途中に入寮する場合は、入寮当月分は日割りとなります。

○ 入居一時金(Aタイプ: 45,900円 Bタイプ: 84,200円)について、退寮時の返金はありません。また、入居一時金には、退寮時の基本清掃代が含まれます。

○ 契約時に、運営会社が規定する内容の火災保険にご加入いただきます。保険料は年10,000円程度です。

※ 個人で火災保険に加入している場合でも、運営会社が規定する内容に満たない場合は原則としてご加入いただきます。

8. 退寮に関して

- 契約期間中の途中解約には3ヶ月前の解約通知が必要です。
- 3月に退寮をする場合は、3月20日までに退寮をしなければなりません。

2025年度 東京藝術大学受験 web 宿泊プランについて

この企画に東京藝術大学は関係していません。お問合せは生協へお願いいたします。

東京芸術大学生協同組合 TEL:03-3828-5669 受付:月～金10時～18時、休業:土・日・祝

※短縮営業となる場合がございます。最新の営業時間はHPでご確認ください。

東京芸術大学生協では、(株)日本旅行と提携して受験に便利なホテルのご案内をいたしております。

インターネットよりお申込みください。

●満室等でご予約いただけない場合もございます。お申込みはお早めをお願いいたします。

ご予約はインターネットでお申込みいただけます。

★お申込みの際、クレジットカードが必要となります。

下記日本旅行「大学受験web宿泊プラン」ページへアクセスしてください。

<http://www.nta.co.jp/kokunai/season/coopyado/univ/cc010/index.htm>



大学受験web宿泊プラン

★ 受験会場（大学所在地）に、交通が便利なホテルをインターネットで簡単検索

★ 受験日や宿泊条件から、ご希望のホテルをお選びいただけます！

★ ご予約もインターネットでらくらく。すぐに可否がわかります。

東京芸術大学

路線図を見る 全体のエリアMAPへ
全ホテル一覧もご覧いただけます

上野キャンパス ●JR各線「上野」駅より徒歩約10分、東京メトロ有楽町線、日比谷線「上野」駅より徒歩約15分
●東京メトロ千代田線「根津」駅より徒歩約10分

主要駅から大学最寄り駅までの所要時間 ※所要時間は目安となります(駅での停車時間、乗換時間は含まれておりません)。また、運行状況により遅れが発生する場合がございます。

○JR山手線

東京 約2分 神田 約2分 秋葉原 約2分 御徒町 約2分 上野 約4分 日暮里 約5分 駒込

ご宿泊に便利なホテル

| 地区名 | 施設名 | 最寄駅 | 所要時間 | 電気スタンド | 禁煙ルーム | 加湿器 | 2名1室設定 | MAP |
|---------|------------|---------------|-------|--------|-------|-----|--------|-----|
| 上野 | 上野ターミナルホテル | JR各線「上野」駅 | 徒歩約3分 | 貸出 | 有 | 貸出 | 無 | - |
| お茶ノ水・神田 | 東王プレッソイン神田 | JR・地下鉄各線「神田」駅 | 徒歩約5分 | 常備 | 有 | 常備 | 無 | MAP |

上記はイメージです。実際の画面と異なる場合があります

<お部屋探しも大学生協で>

ご入学後の引越し先を早期にお探しになりたい方は、大学生協提携店へご相談下さい。詳しくは下記WEBページをご覧ください。

https://univ-room.jp/campus/univ.php?news_univ_id=41

*「藝心寮」に関しては生協では取扱いがございません。大学のご案内をご参照下さい。



<先輩学生が大学生活スタートを応援します>

「新入生交流会」「パソコン使い方講座」など計画中です。

芸大生協学生委員会X(旧Twitter)では新入生の質問にお答えしています。

詳細は「芸大生協新入生応援サイト」でお知らせします。

大学生活の準備に役立つ資料を生協がご用意します
藝大受験をお考えの方、まずは生協資料をご請求ください

下記URL または二次元バーコードからアクセスしてください

東京芸術大学生協新入生応援サイト

<https://text.univ.coop/puk/START/geidai/>

東京芸大生協 新入生

検索



新入生応援サイトは12月以降
随時更新します。webより
生協、共済にご加入頂けます。
ぜひ ご覧下さい。

「教科書・パソコン・新生活用品」などの購入案内
先輩学生が作成した「大学生活のしおり」
「生協・共済加入のご案内」など無料でお送りします。

サイト内の「資料請求」からお申し込み下さい

*25年版資料は作成中です。発送は25年1月下旬以降を予定しております。

東京芸術大学生協同組合 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8 Tel:03-3828-5669 Fax:03-3828-7291
【URL】<https://www.univcoop.jp/geidai/> 【メール】geidai_coop@univ.coop

この紙面は、東京芸術大学生協同組合からのご案内です。
※東京芸術大学生協同組合は学生・教職員によって出資・運営されている自主的な組織です。

東京藝術大学への問い合わせ先等

○本学のホームページアドレス

<https://www.geidai.ac.jp/>

○本学「入試情報サイト」のホームページアドレス

<https://admissions.geidai.ac.jp/>

○本学「インターネット出願サイト」のホームページアドレス

<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>

○入学者選抜等

美術学部教務係…………… (Email : bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp)

Tel : 050-5525-2122)

電話による問い合わせは、平日 9 : 00 ~ 12 : 30, 13 : 30 ~ 16 : 30
(ただし、土・日・祝日、本学の夏季・冬季休業期間、年末年始を除く)
(日本語のみ)

※やむを得ない場合を除き志願者本人が問い合わせてください。

インターネット出願サイトの操作方法・入学検定料支払方法に関する 問い合わせ先

(株) キャリタス「学び・教育」サポートセンター

Tel : 0120 - 202 - 079 (平日 10 : 00 ~ 18 : 00 / 土・日・祝日・

年末年始を除く ※出願期間中は 24 時間対応) (日本語のみ)

Email : cvs-web@career-tasu.co.jp (日本語・英語対応可)

※入試に関する質問についてはお答えできません。